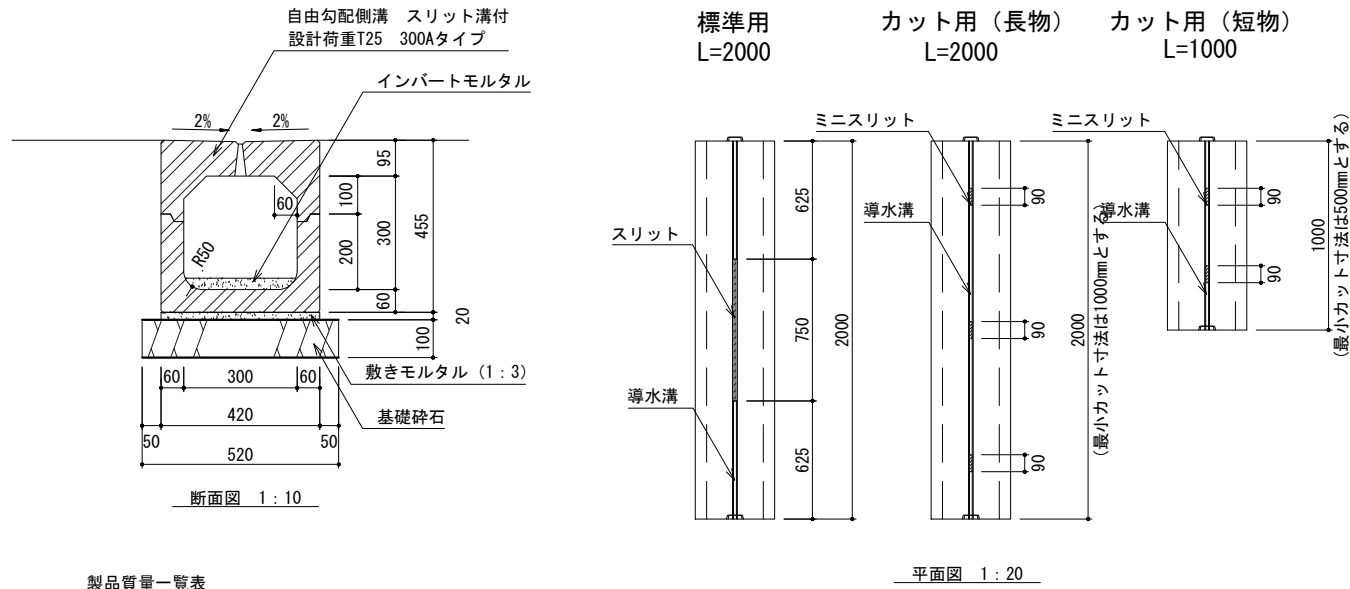


自由勾配側溝-Aa

A1 図示
A3 図示1/2



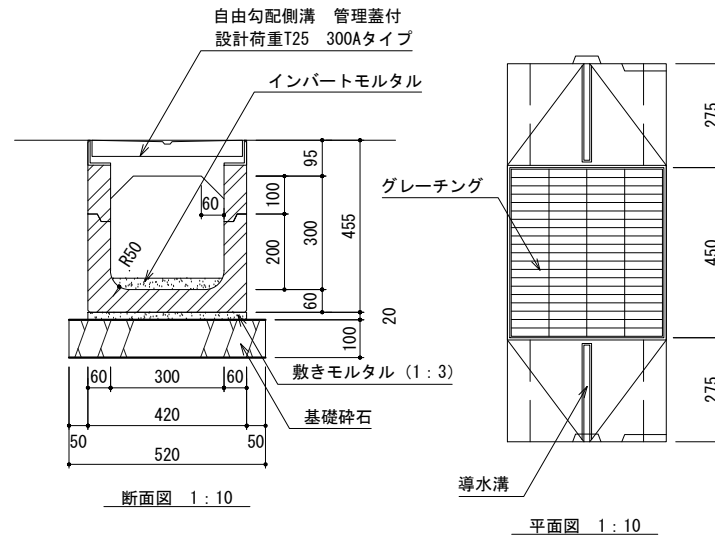
製品質量一覧表

呼び名	300A
上ブロック	257
下ブロック	235
合計(kg)	492

仕様
・自由勾配側溝は、日本コンクリート(株)Ez(イーゼーリット)I型同等品以上とする。

自由勾配側溝-Ba

A1 1/10
A3 1/20



製品質量一覧表

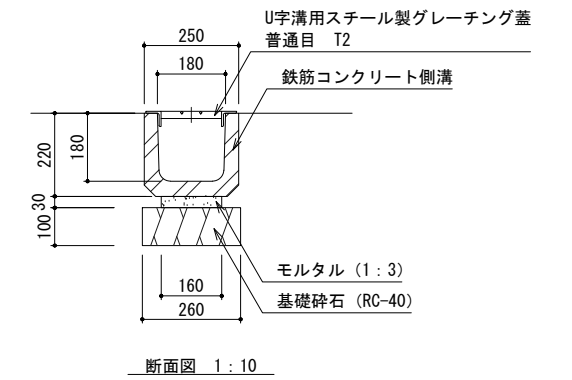
呼び名	300A
上ブロック	94
下ブロック	118
合計(kg)	212

仕様
・自由勾配側溝は、日本コンクリート(株)Ez(イーゼーリット)I型(管理樹)同等品以上とする。

※上表重量はグレーチング重量を含まない。
グレーチング重量 並目：本体15.1kg, 受枠8.1kg
細目：本体16.2kg, 受枠8.1kg

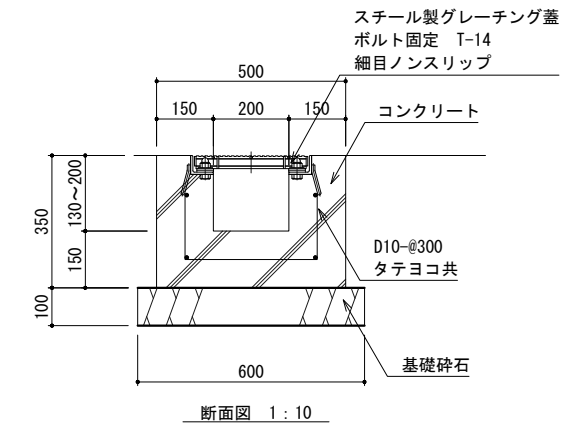
U形側溝

A1 1/10
A3 1/20



現場打側溝

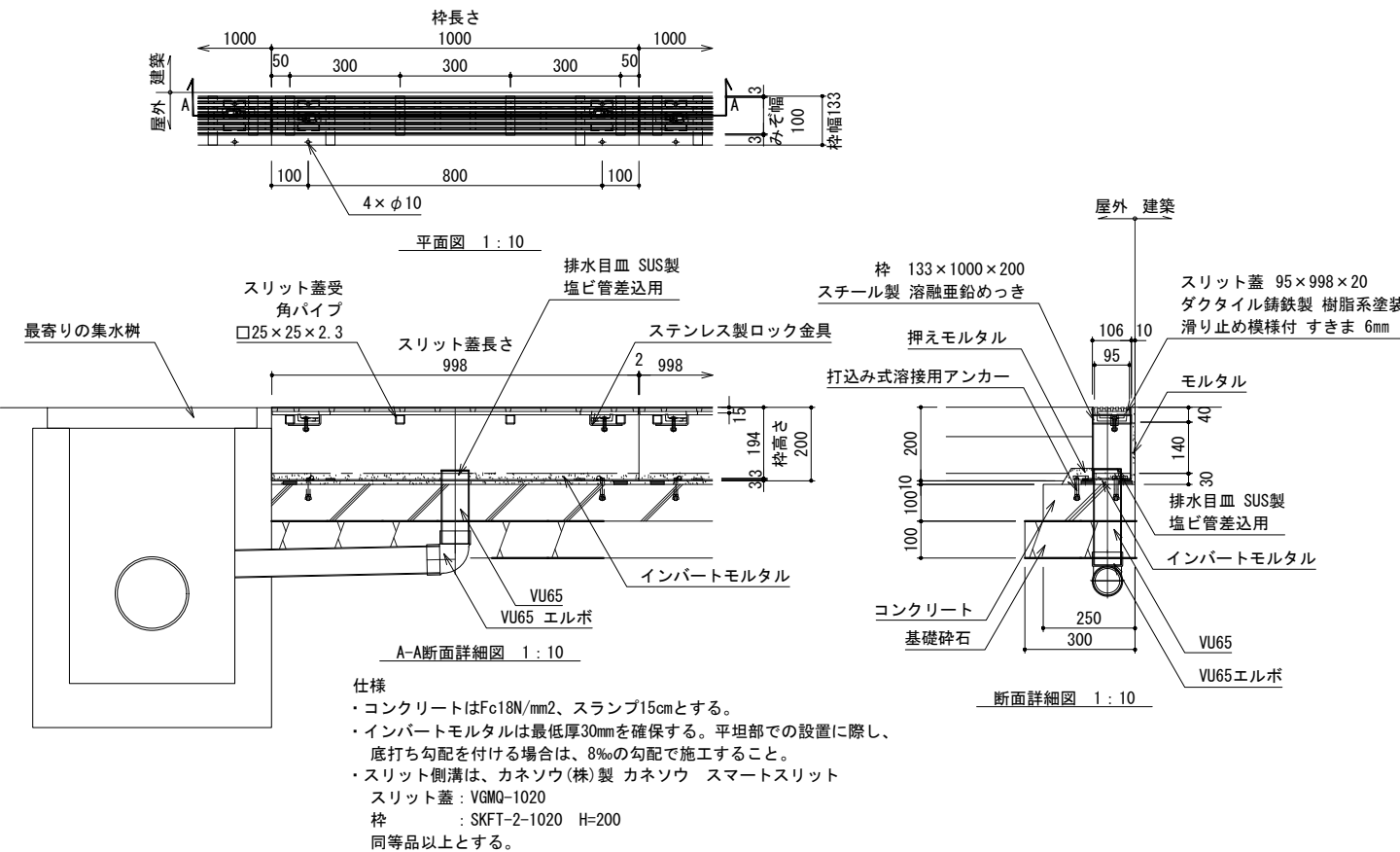
A1 1/10
A3 1/20



仕様
・コンクリートはFc21N/mm²、スランブ15cmとする。
・溝底高は平面図を参照すること。
・グレーチング蓋は、SS400溶融亜鉛メッキ処理とする。
・上記受枠は、SS400樹脂系塗料塗装とする。

スリット側溝, VU65

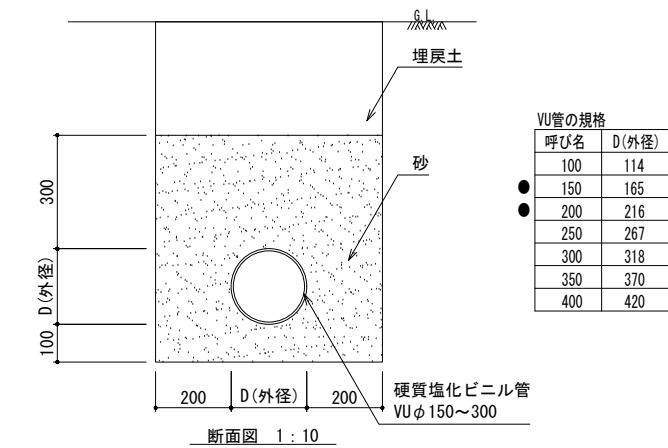
A1 1/10
A3 1/20



仕様
・コンクリートはFc18N/mm²、スランブ15cmとする。
・インパートモルタルは最低厚30mmを確保する。平坦部での設置に際し、底打ち勾配を付ける場合は、8‰の勾配で施工すること。
・スリット側溝は、カネソウ(株)製 カネソウ スマートスリット
スリット蓋：VGMQ-1020
枠：SKFT-2-1020 H=200
同等品以上とする。

管渠工 硬質塩化ビニル管

A1 1/10
A3 1/20

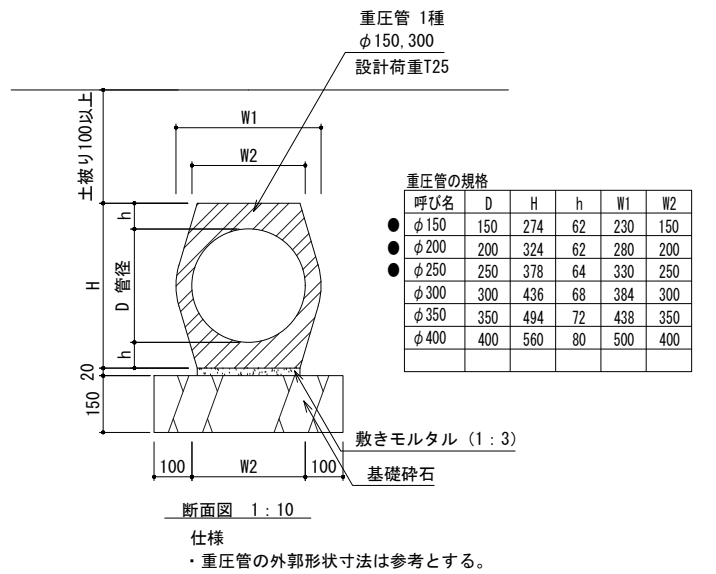


VU管の規格

呼び名	D(外径)
100	114
150	165
200	216
250	267
300	318
350	370
400	420

管渠工 重圧管

A1 1/10
A3 1/20



重圧管の規格

呼び名	D	H	h	W1	W2
φ150	150	274	62	230	150
φ200	200	324	62	280	200
φ250	250	378	64	330	250
φ300	300	436	68	384	300
φ350	350	494	72	438	350
φ400	400	560	80	500	400

仕様
・重圧管の外郭形状寸法は参考とする。

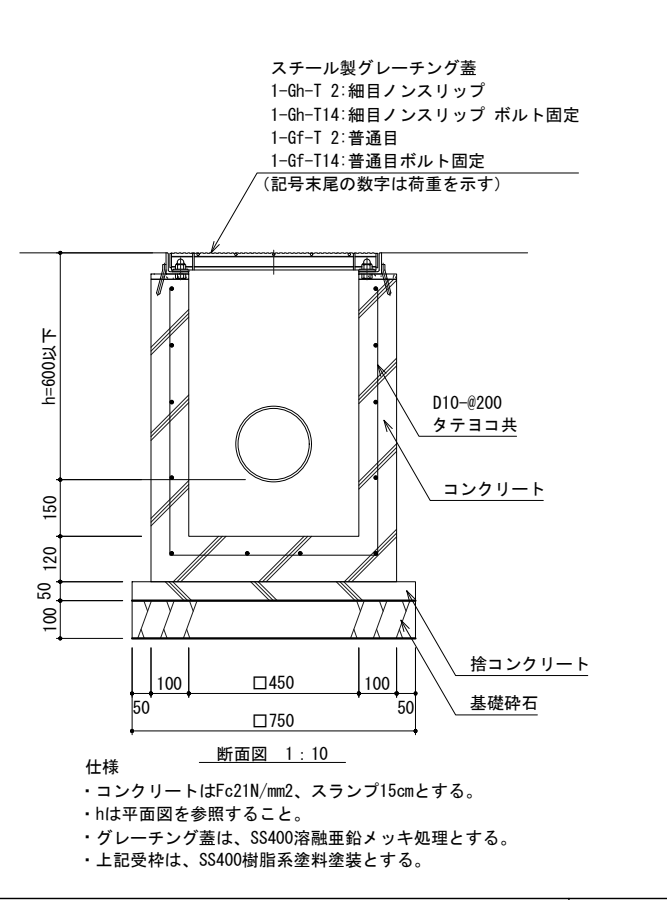
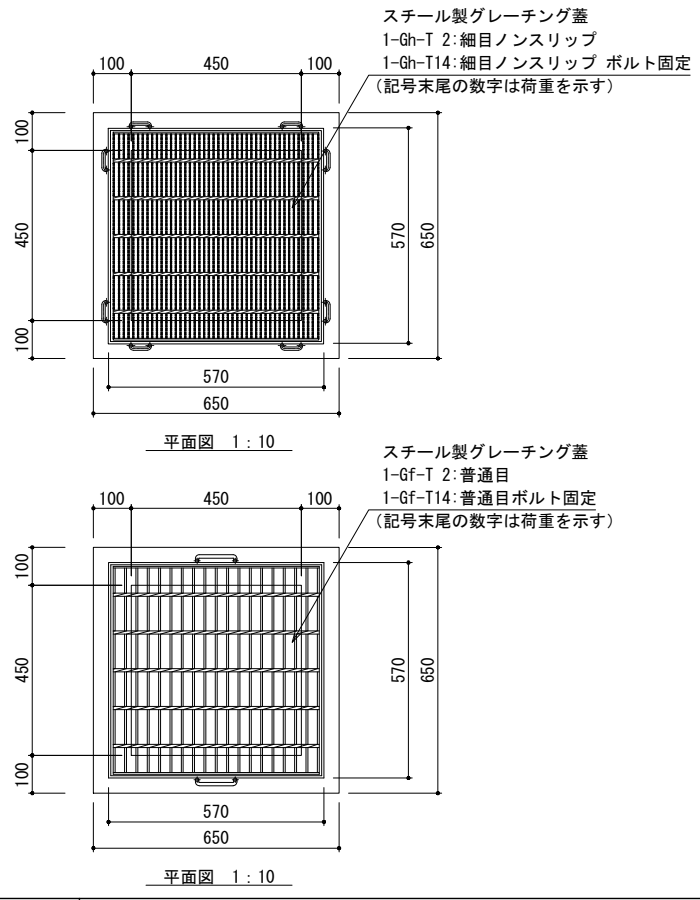
公立大学法人 滋賀県立大学
高専開設準備局 総務・施設整備課

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

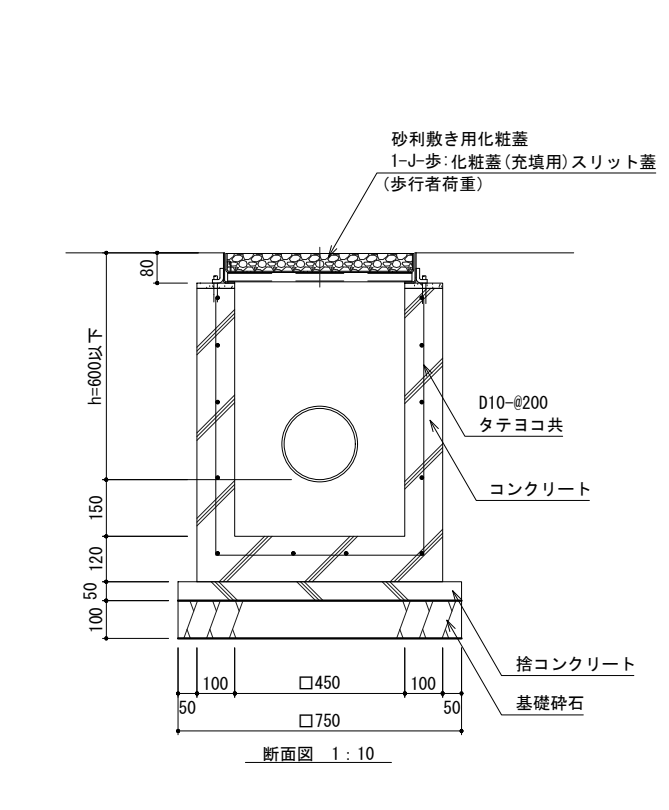
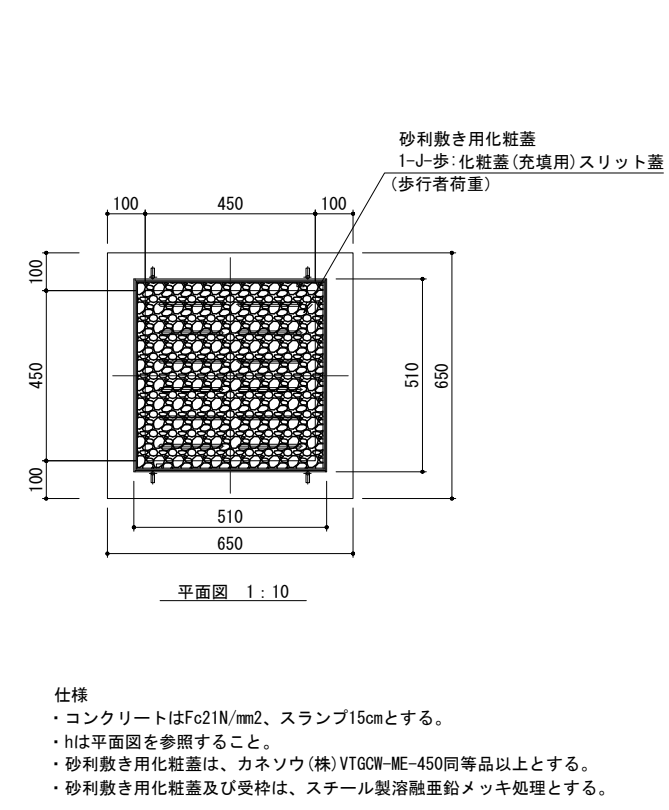
設計番号 20240631-3
一級建築士 NO.272847 石井 康彦
一級建築士 NO.248486 木下 隆嗣
一級建築士 NO.334956 工藤 征志
設備設計一級建築士 NO.4009

工事名称 滋賀県立高等専門学校
新築工事(第3工区)
図面名称 外構詳細図その1 (管渠・側溝)
縮尺 A1: 図示
A3: 図示
図面番号 A095

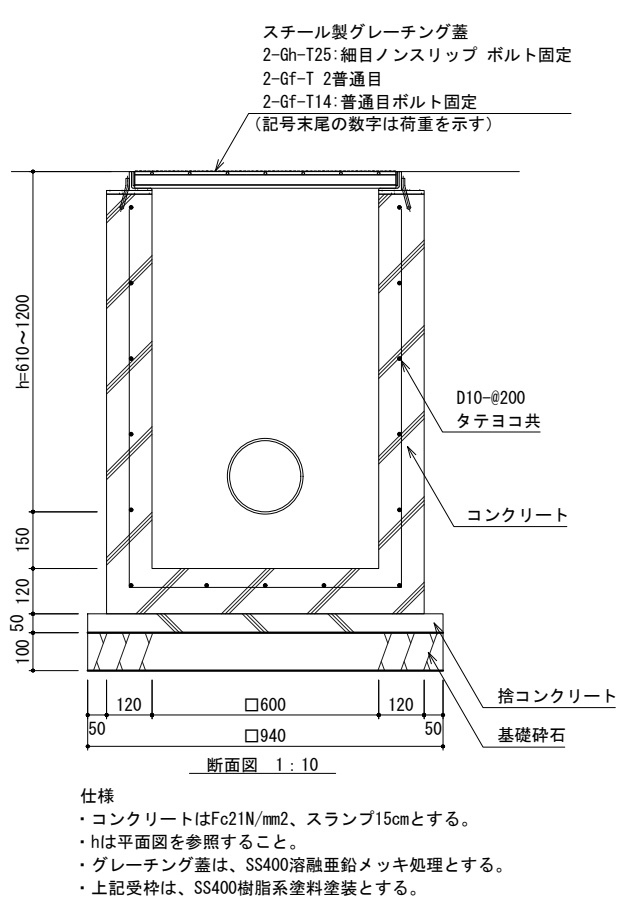
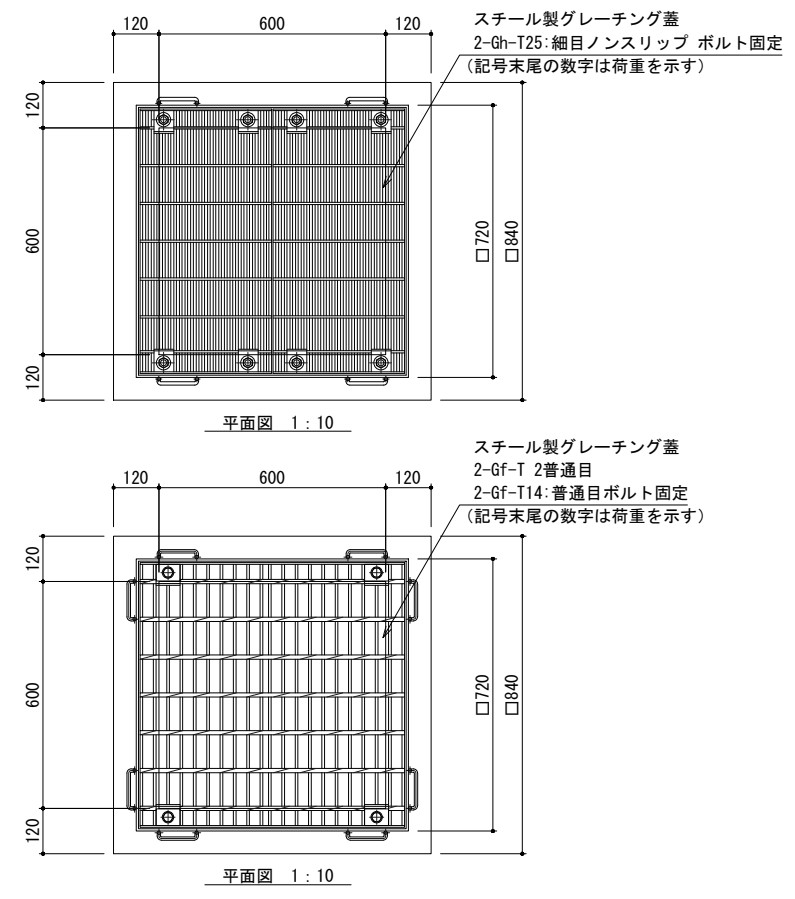
集水樹-A1a, 蓋1-Gh-T2, 蓋1-Gh-T14, 蓋1-Gf-T2, 蓋1-Gf-T14



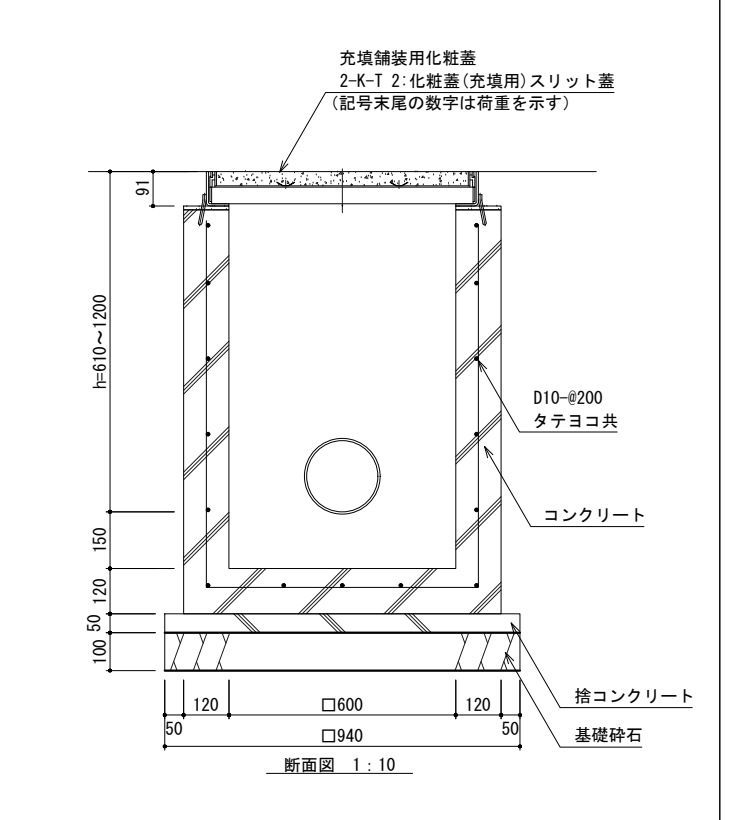
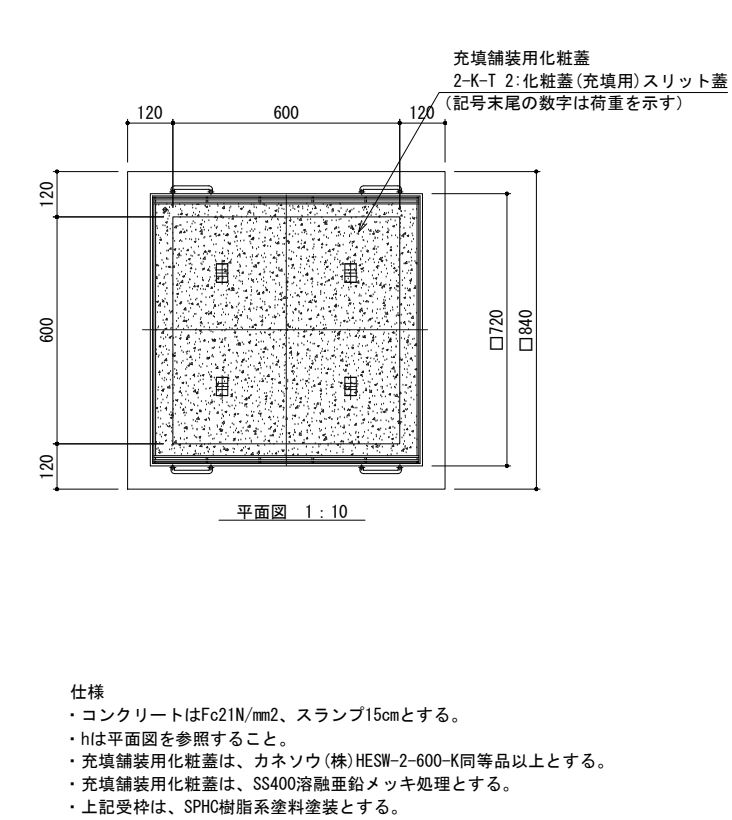
集水樹-A1c, 蓋1-J-歩

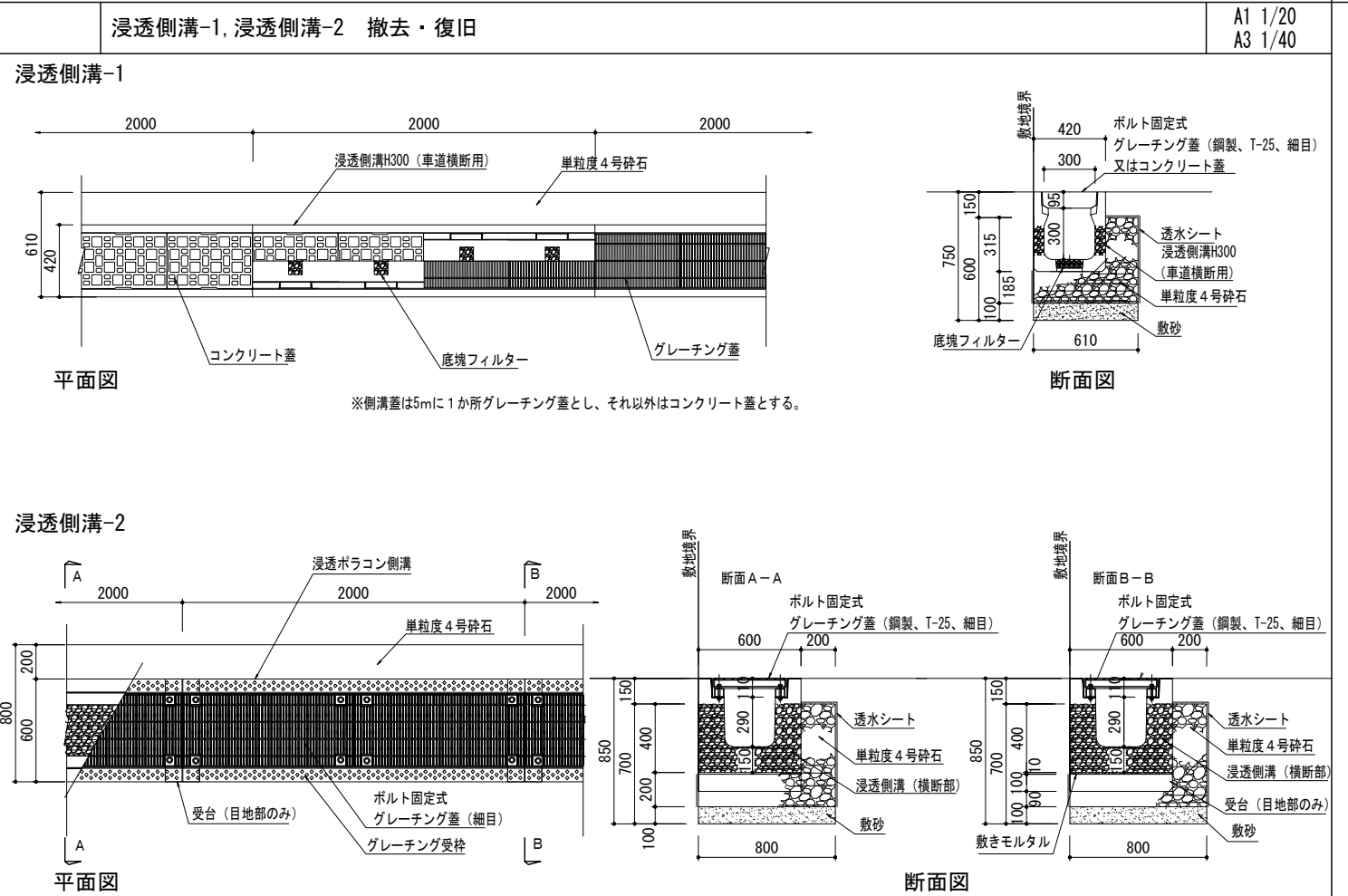
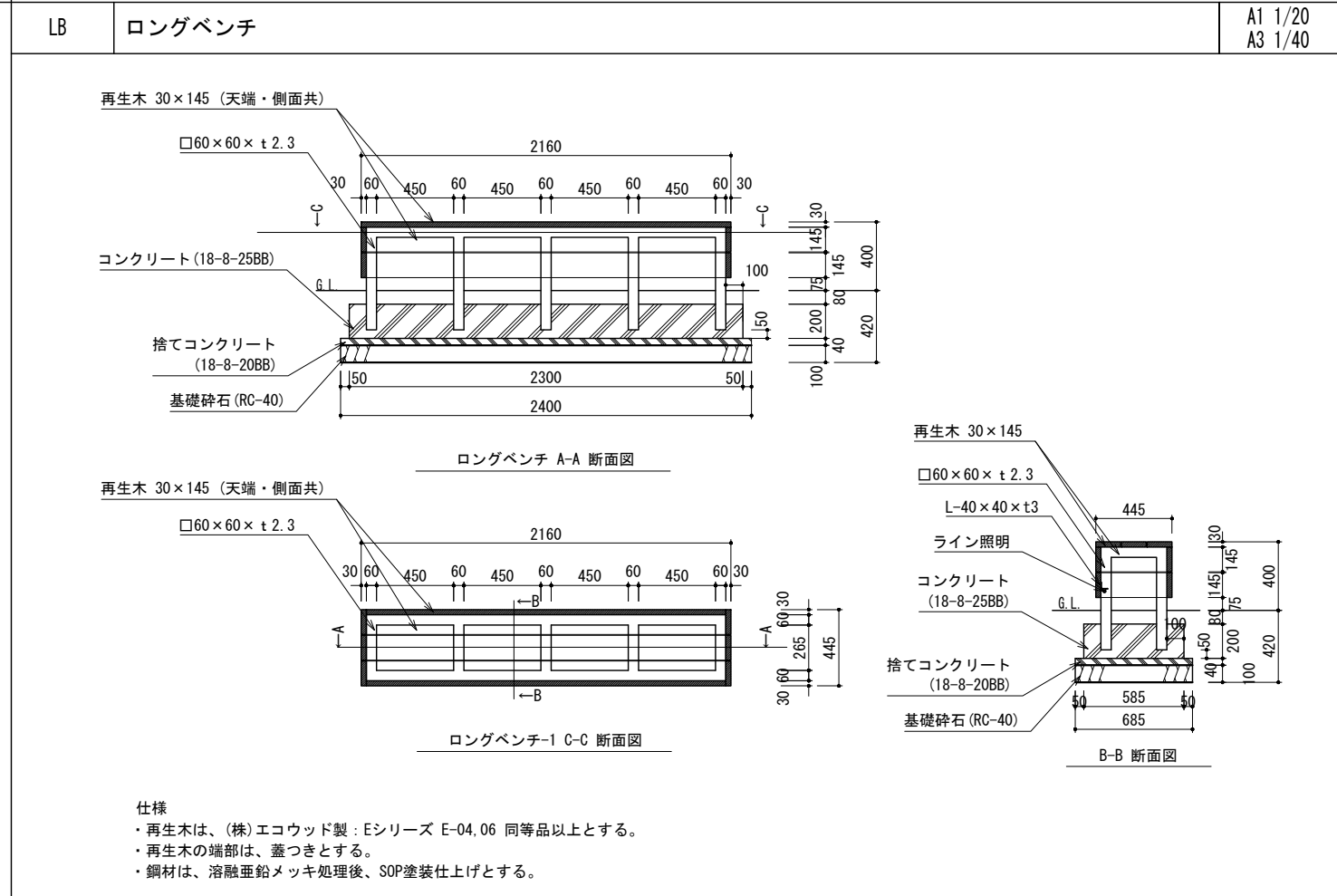
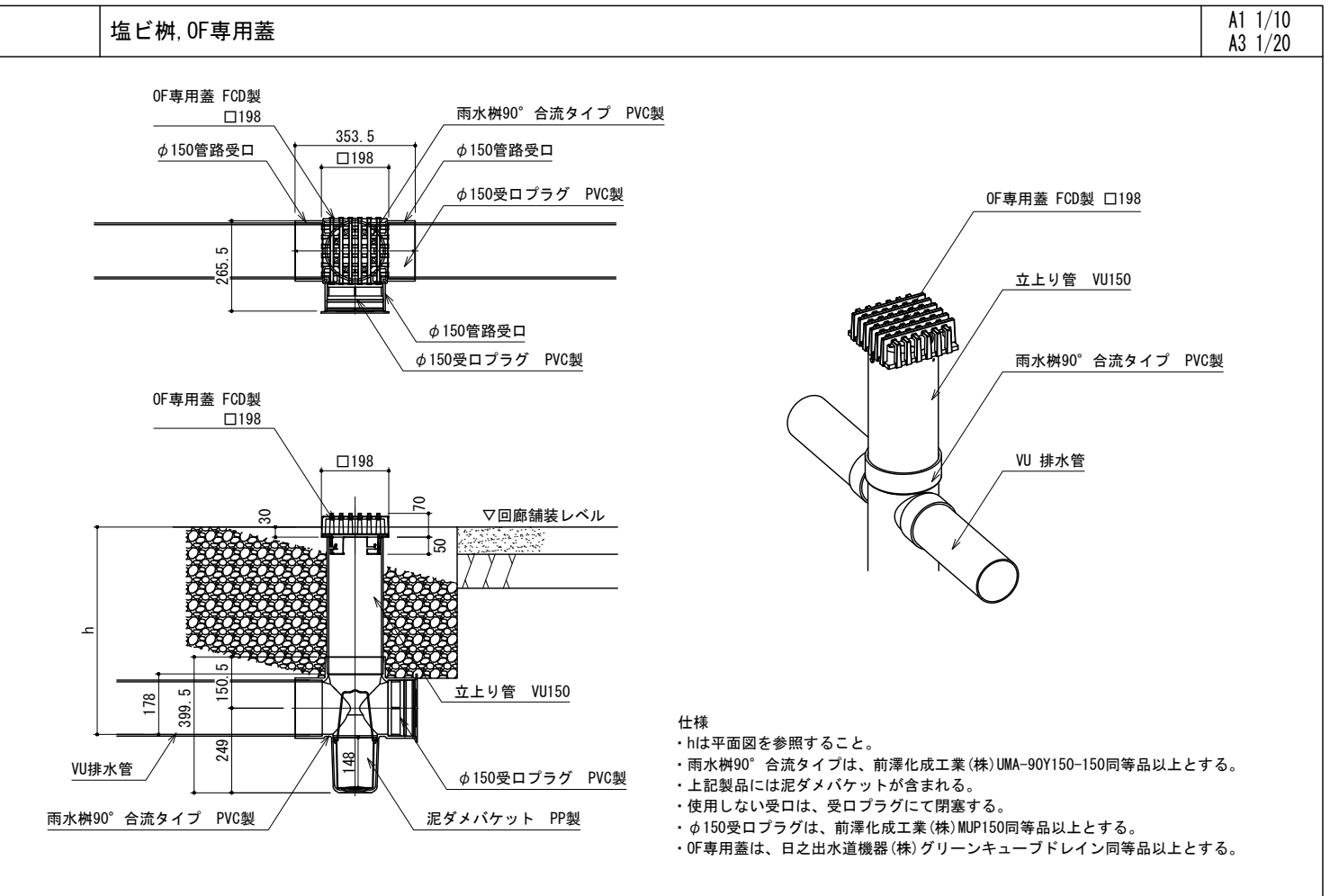
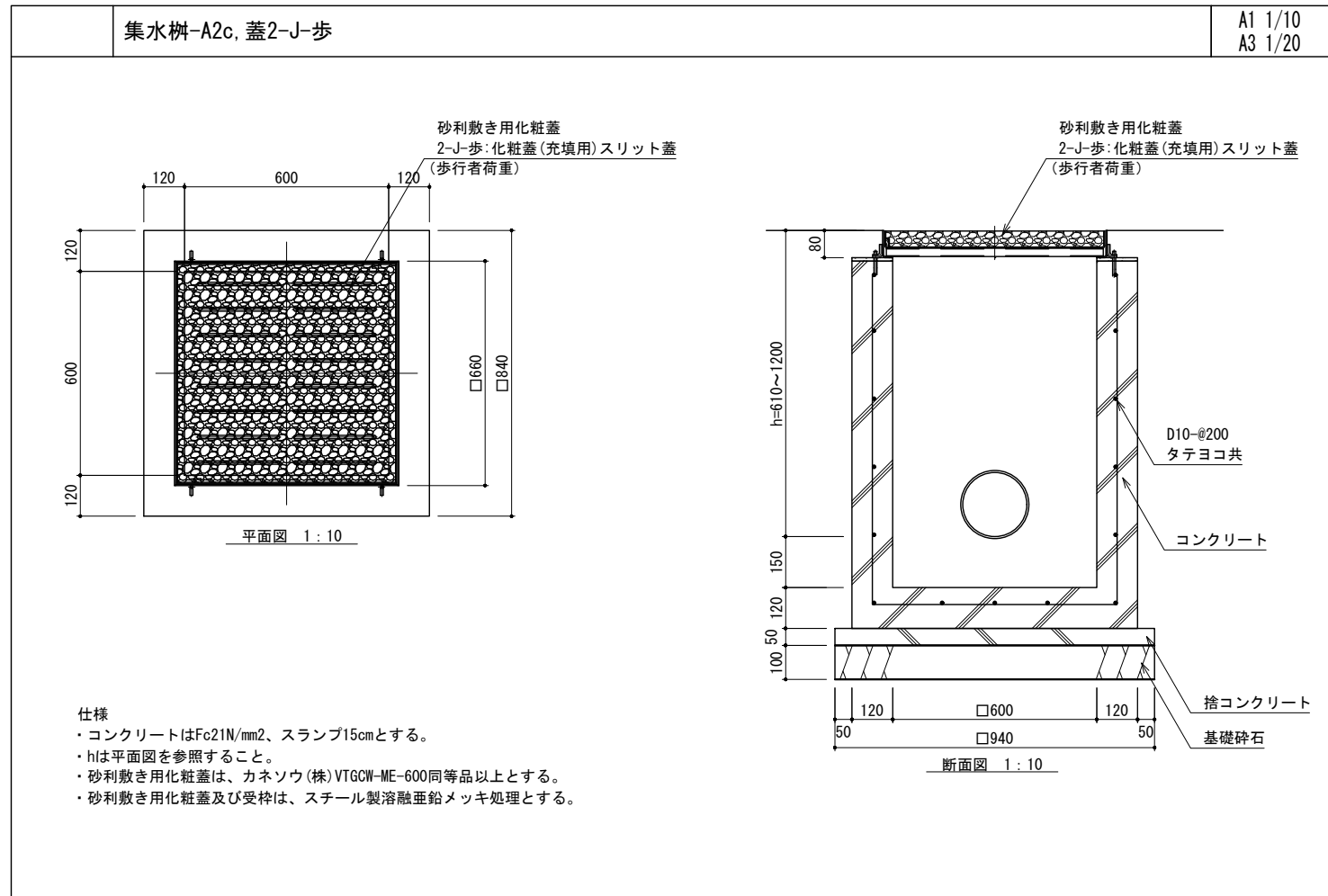


集水樹-A2a, 蓋2-Gh-T25, 蓋2-Gf-T2, 蓋2-Gf-T14



集水樹-A2b, 蓋2-K-T2





公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC. 石井 康彦	設計番号 20240631-3 一級建築士 No. 272847 構造設計一級建築士 No. 4009	一級建築士 No. 248486 構造設計一級建築士 No. 4009 一級建築士 No. 334956 設備設計一級建築士 No. 4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 外構詳細図その3 (集水樹・蓋)	図面番号 A097 縮尺 A1: 図示 A3: 図示
-----------------------------------	--	--	---	--	--

AS-1	アスファルト舗装-1	A1 1/10 A3 1/20	AS-2	アスファルト舗装-2	A1 1/10 A3 1/20	ILB	インターロッキングブロック舗装	A1 1/10 A3 1/20	CO	コンクリート舗装	A1 1/10 A3 1/20
<p>仕様 ・CBR 3%以上とすること。</p>			<p>仕様 ・CBR 3%以上とすること。</p>			<p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロックス(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p>			<p>仕様 ・伸縮目地は、4m毎に設けること。 ・CBR 3%以上とすること。</p>		

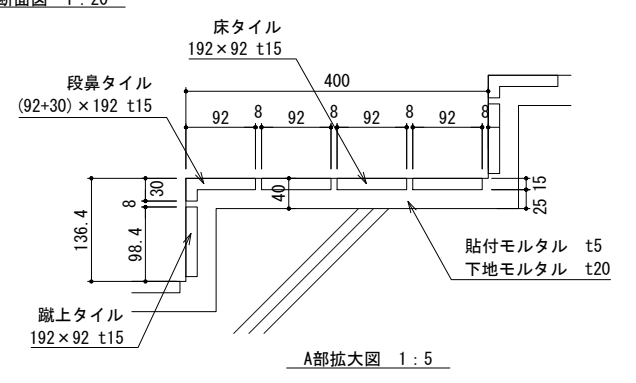
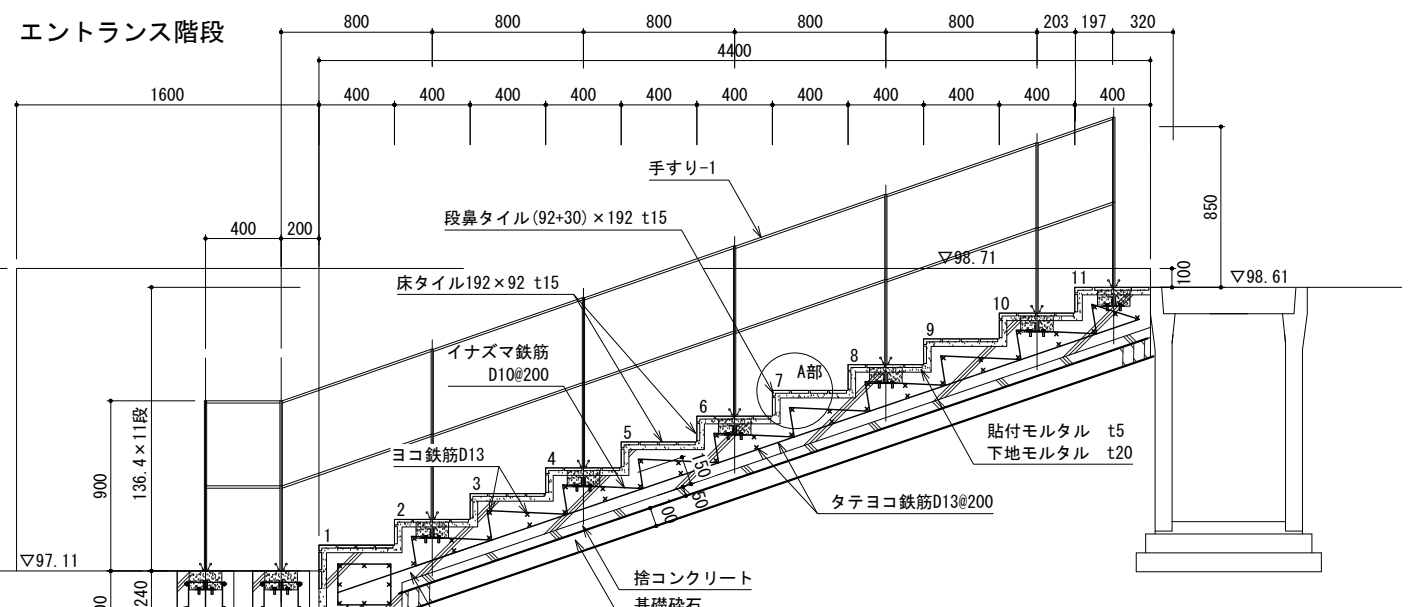
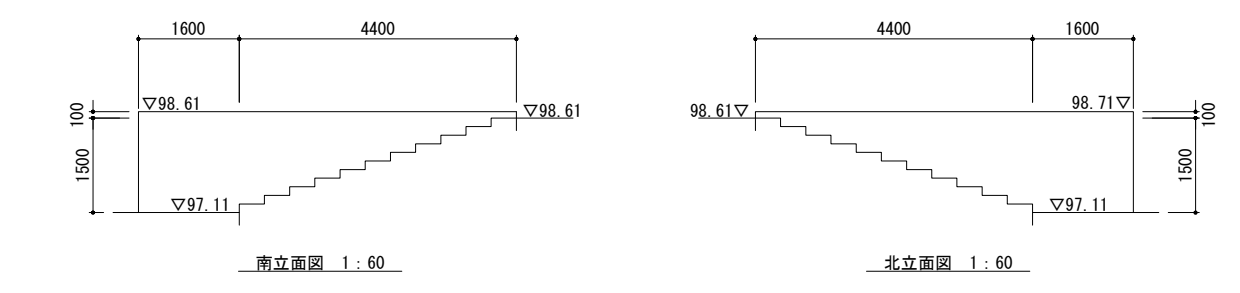
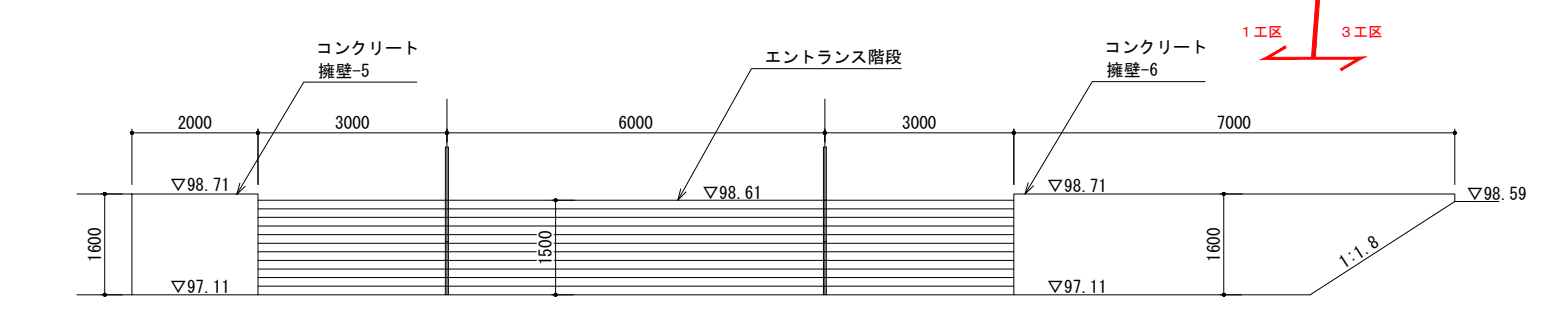
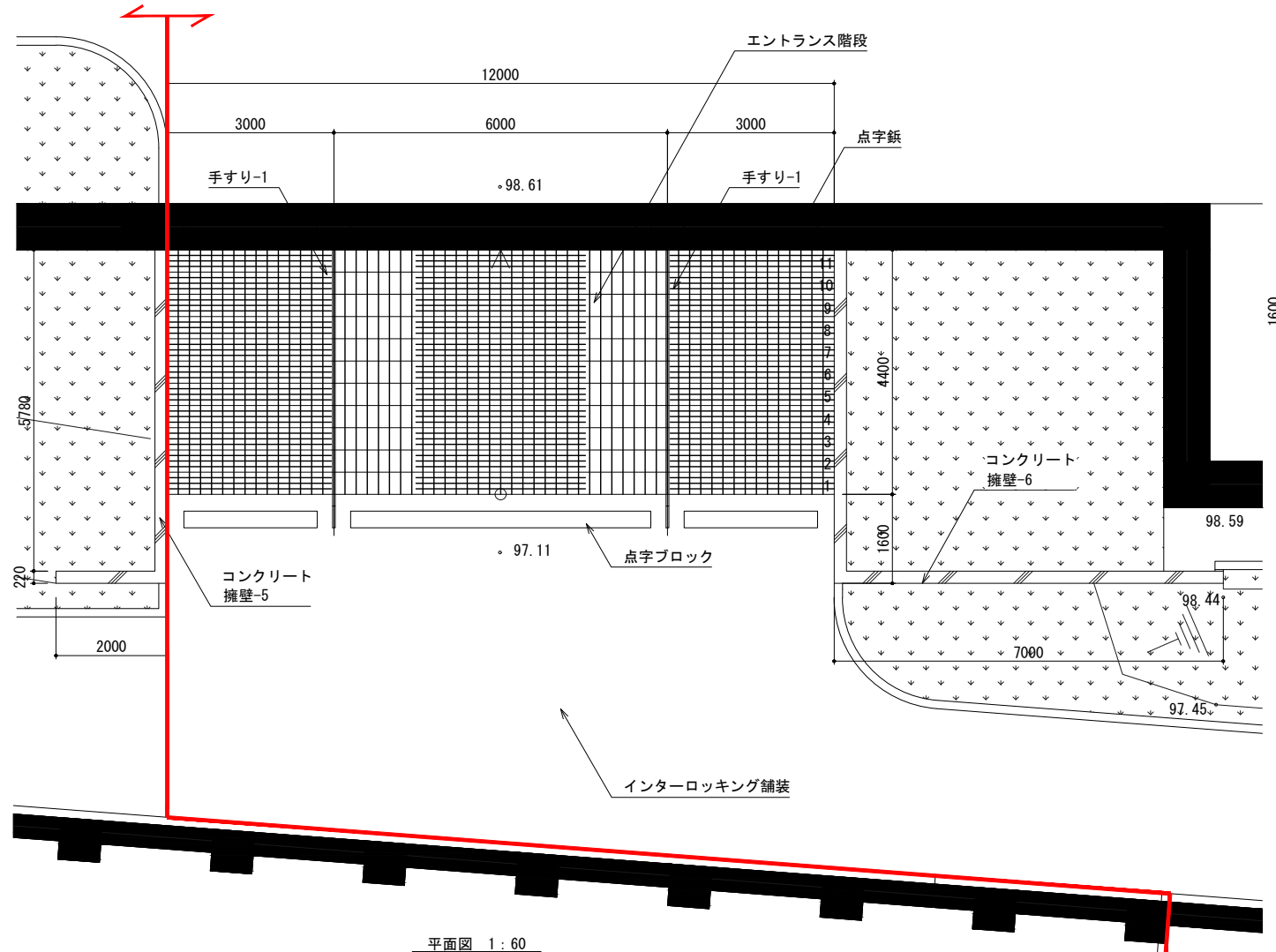
ILB-1	インターロッキングブロック舗装-1	A1 1/10 A3 1/20	ILB-2	インターロッキングブロック舗装-2	A1 1/10 A3 1/20	S	砕石舗装	A1 1/10 A3 1/20	CL-1	溶融式区画線-1 (普通自動車区画線)	A1 1/40 A3 1/80
<p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロックス(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p>			<p>仕様 ・インターロッキングは、太陽エコブロックス(株)製“RETRO ベージュ色”同等品以上とする。</p>			<p>仕様 ・砕石は、グレー系とする。</p>			<p>仕様 ・区画線及び記号、文字は実線白色とし、溶融式区画線塗布厚1.5mmを基本とする。</p>		

TS	点字鉄	A1 1/10 A3 1/20	TB	視覚障がい者用誘導ブロック	A1 1/10 A3 1/20	SE	見切材	A1 図示 A3 1/2図示
<p>仕様 ・ナカ工業「ガイドステップSCS14 一般床用 ステンレス+樹脂タイプ」と同等品とする。 ・点字鉄の設置は2液性エポキシ樹脂系接着剤を用いて接着すること。 ・設置箇所については別途監督員の確認を得ること。</p>			<p>仕様 ・太平洋プレコン「視覚障害者用誘導用ブロック 非透水型」と同等品とする。 ・車両耐圧を見込む区間については、() 付き寸法を使用すること。</p>			<p>仕様 ・見切材は、第一機材(株)擁壁スチールエッジ (植栽擁壁見切り材) 同等品以上とする。 ・擁壁エッジ端部は、必ず打込みアンカーで固定すること。</p>		

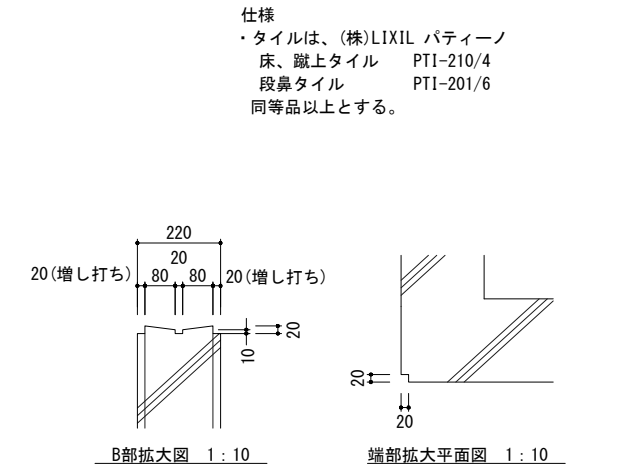
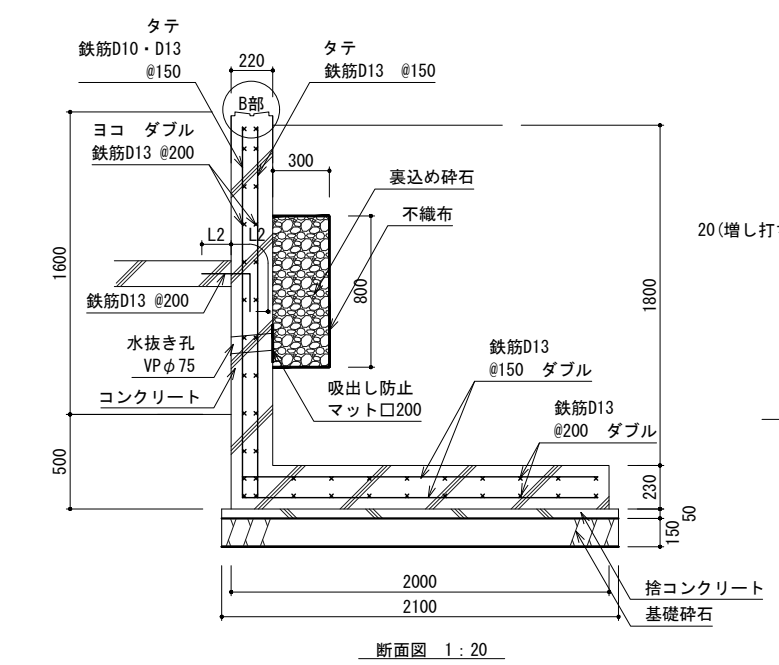
CE-1	縁石-1	A1 1/10 A3 1/20	CE-2	縁石-2	A1 1/10 A3 1/20	CE-3	縁石-3	A1 1/10 A3 1/20	KB	車止めブロック	A1 1/10 A3 1/20
<p>仕様 ・コンクリートはFc18N/mm²、スランプ15cmとする。 ・伸縮目地(選青繊維質板t10)を、標準10mピッチで設置すること。 ・目地モルタル(1:2)は、目地幅5mmを標準とする。</p>			<p>仕様 ・コンクリートはFc18N/mm²、スランプ15cmとする。 ・伸縮目地(選青繊維質板t10)を、標準10mピッチで設置すること。 ・目地モルタル(1:2)は、目地幅5mmを標準とする。</p>			<p>仕様 ・コンクリートはFc18N/mm²、スランプ15cmとする。 ・3.6m毎に1本、穴あき型を用いるものとする。</p>			<p>仕様 ・コンクリートはFc18N/mm²、スランプ15cmとする。 ・3.6m毎に1本、穴あき型を用いるものとする。</p>		

公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課						株式会社 東畑建築事務所 TOMIYAMA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.		設計番号 20240631-3 一級建築士 NO.272847 石井 康彦	一級建築士 NO.248486 構造設計一級建築士 NO.4009 木下 隆嗣	一級建築士 NO.334956 設備設計一級建築士 NO.4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 外構詳細図その4 (舗装・縁石・白線引き) 編尺 A1: 図示 A3: 図示	図面番号 A098
-----------------------------------	--	--	--	--	--	---	--	--	---	---	---	--------------

※コンクリート擁壁-5は別途(第1工区)工事で行う。
※エントランス階段、手すり、コンクリート擁壁-6は本工事で行う。



コンクリート擁壁-5、6標準断面図

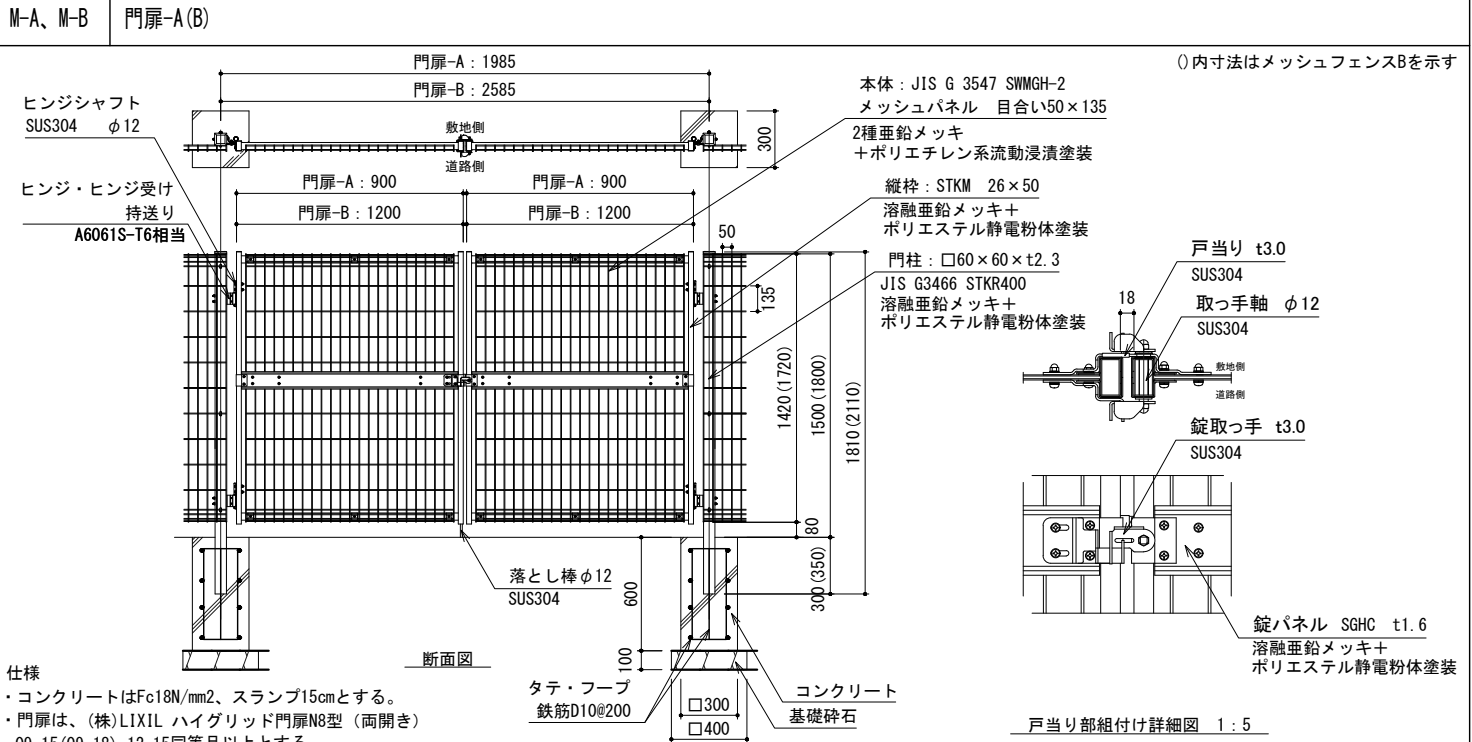
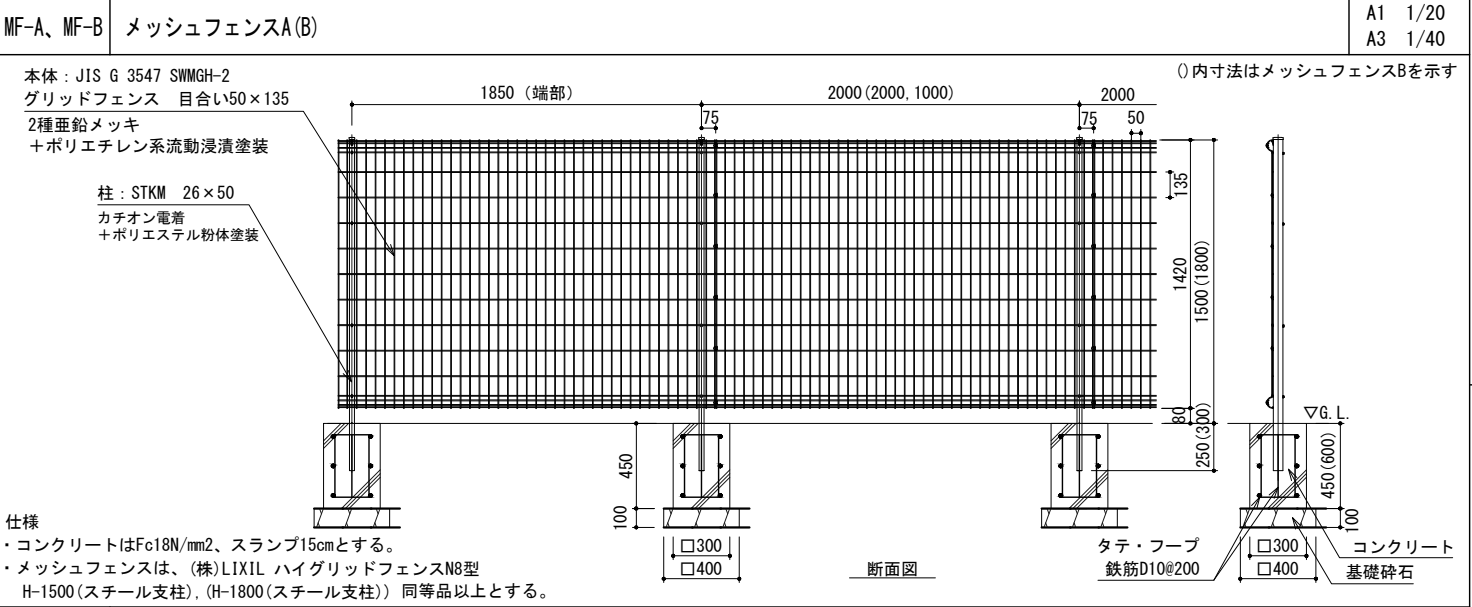
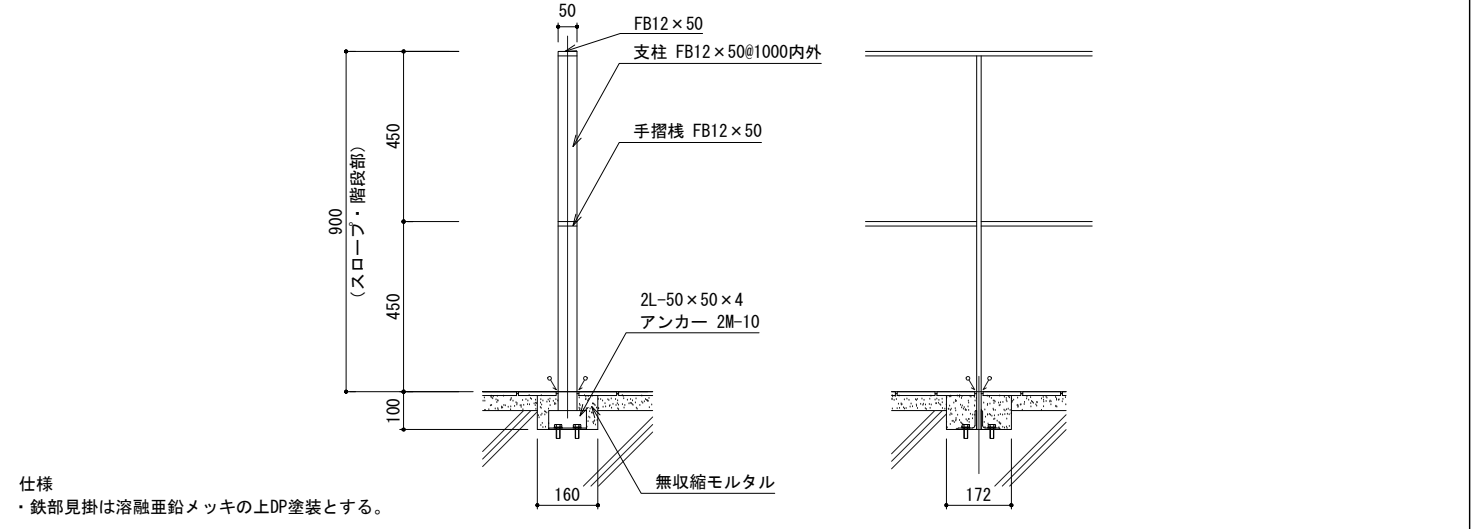
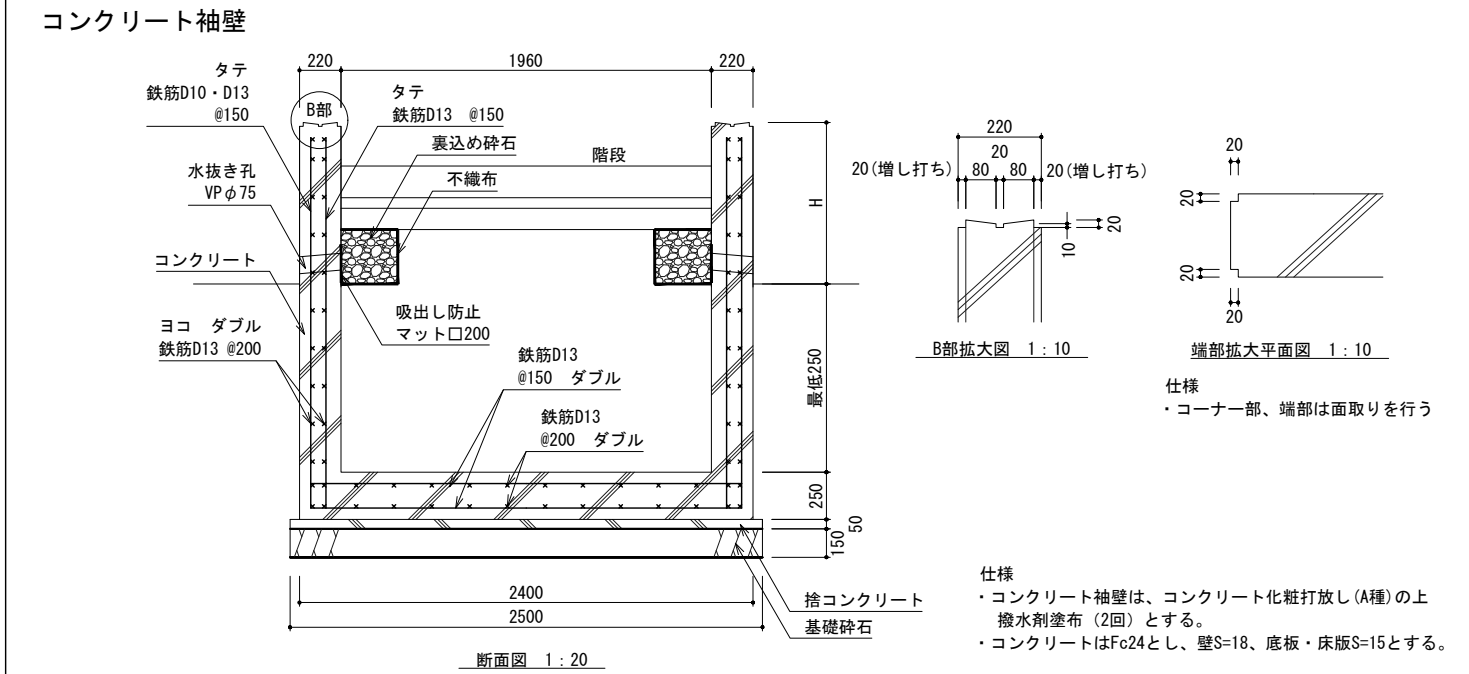
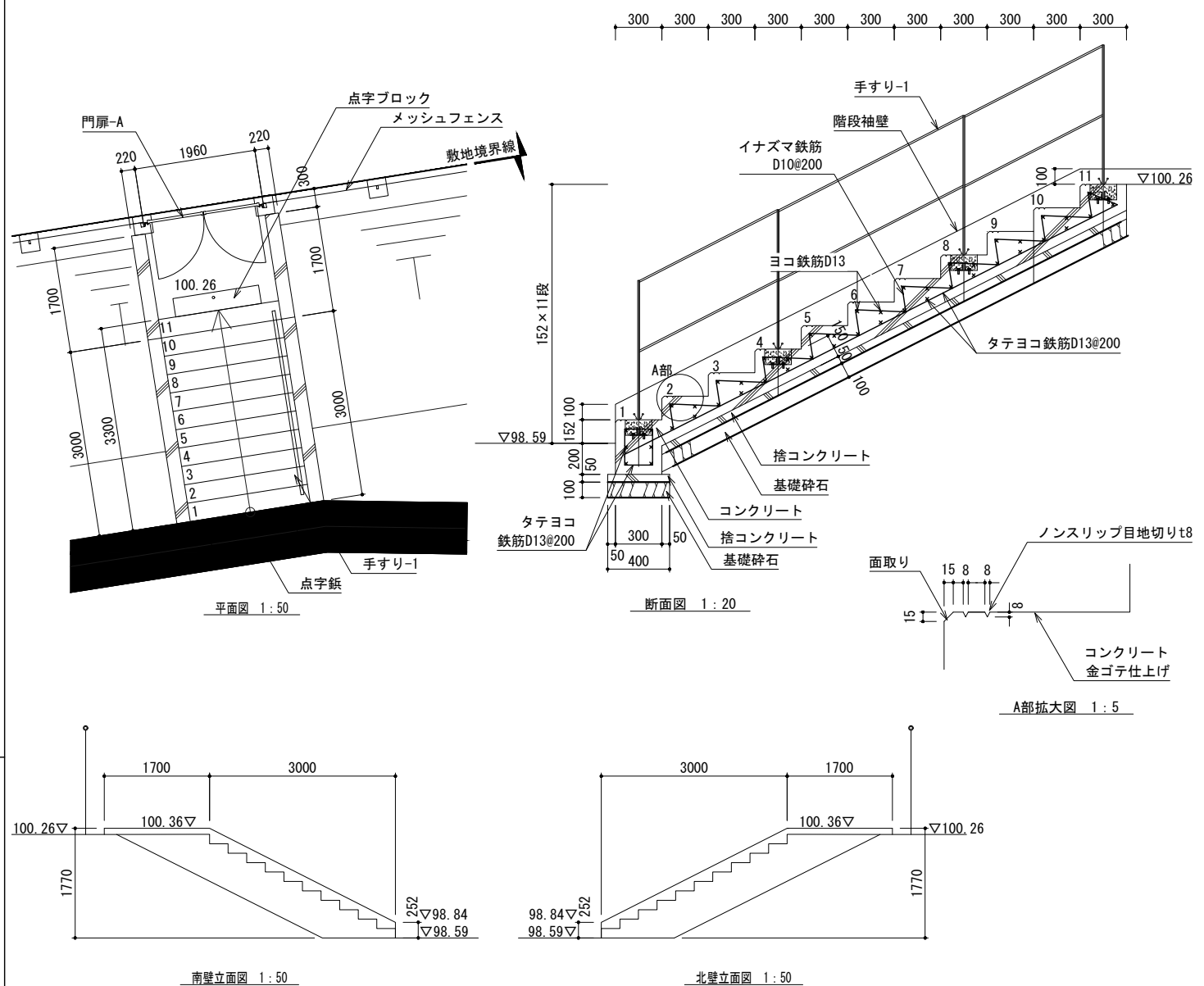


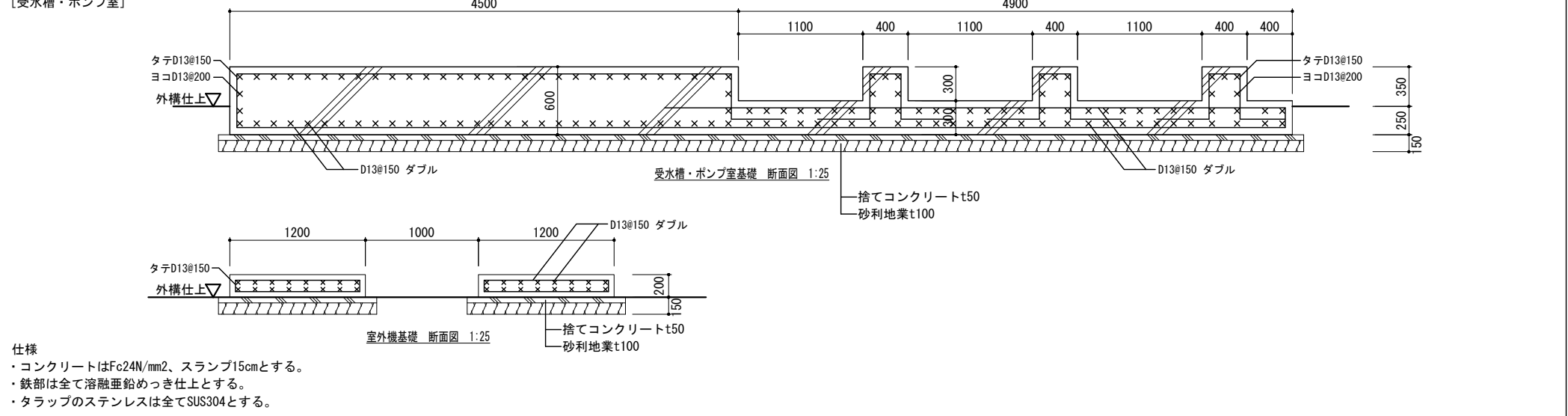
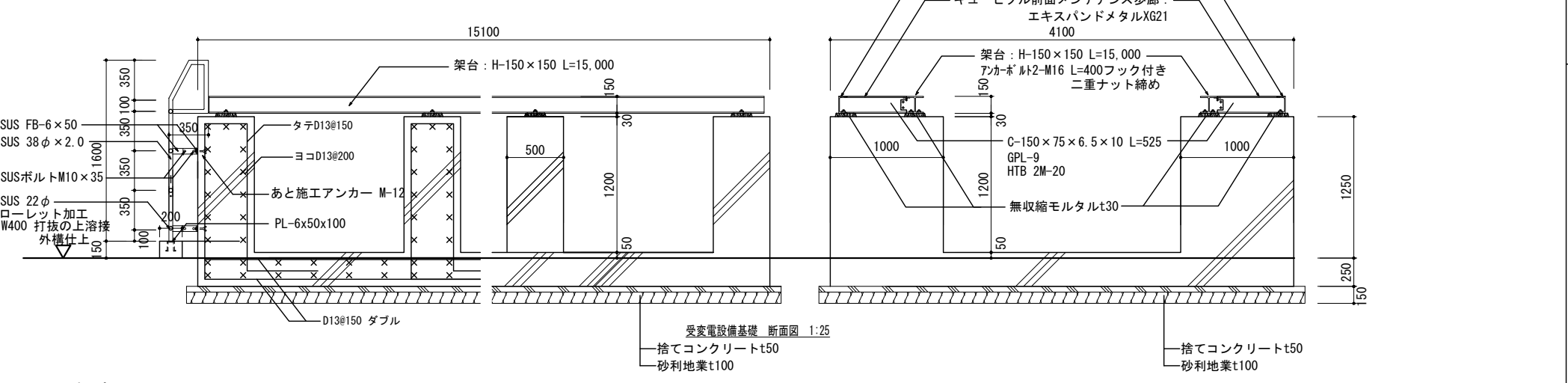
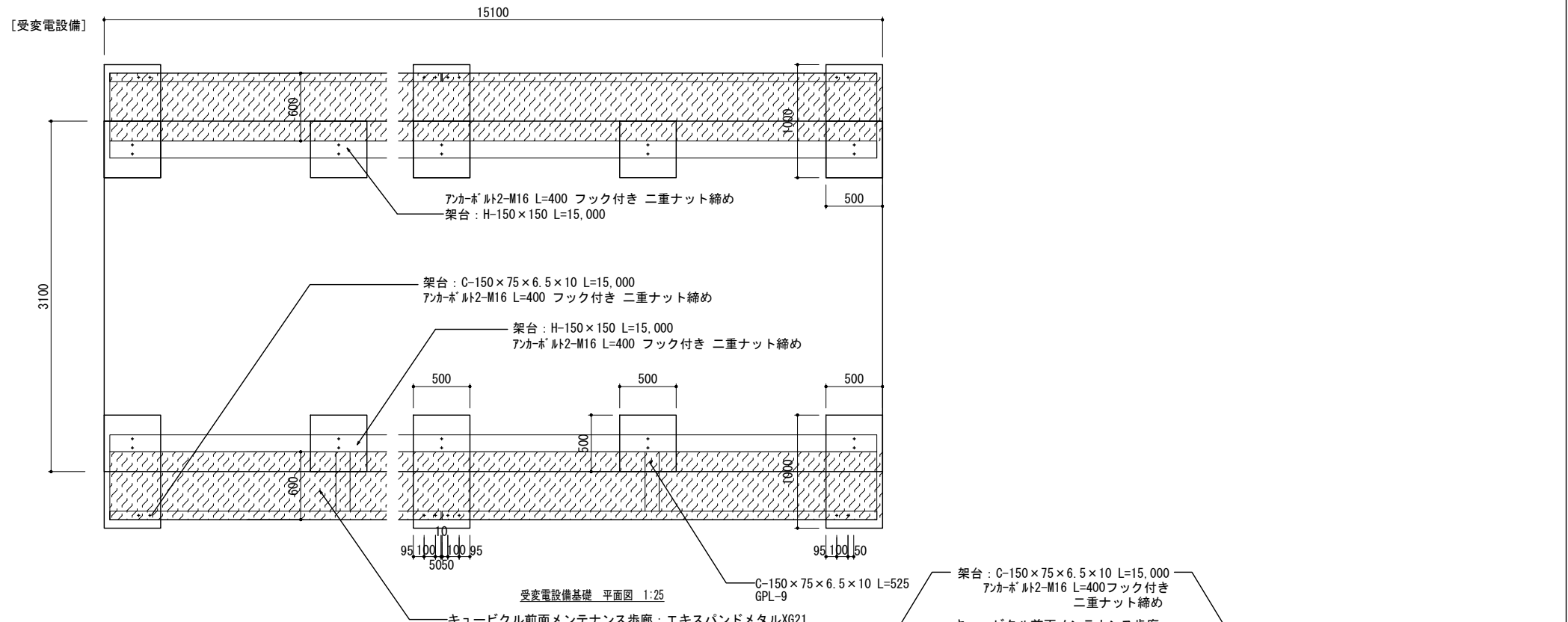
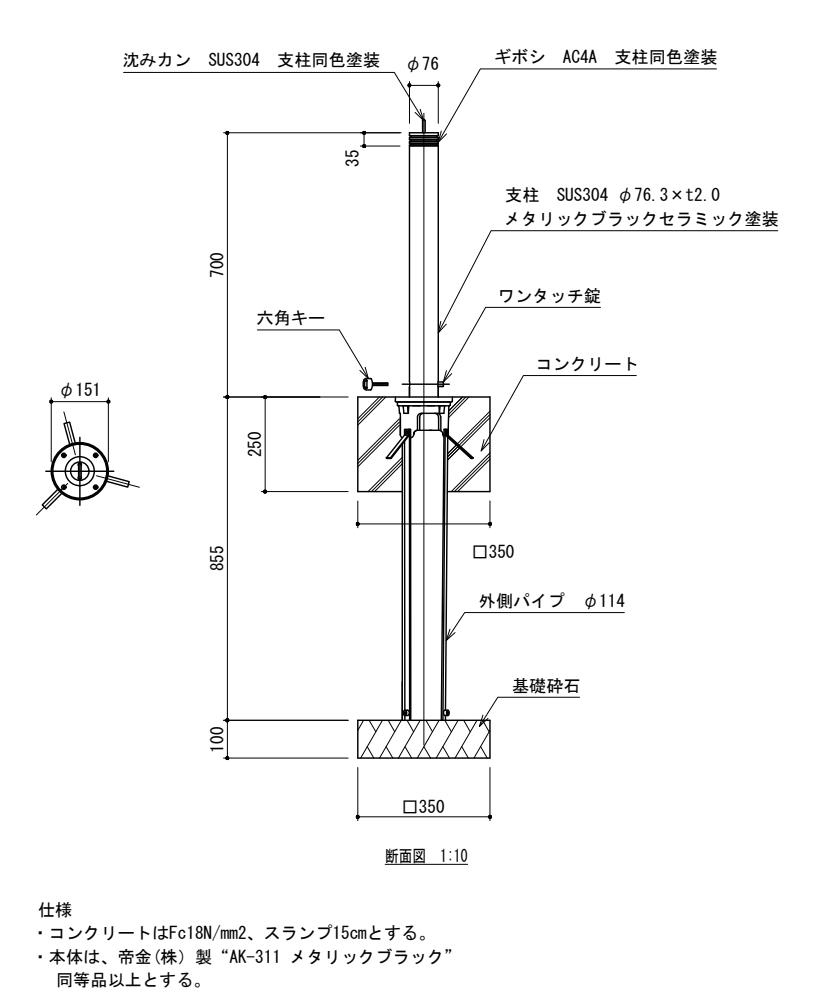
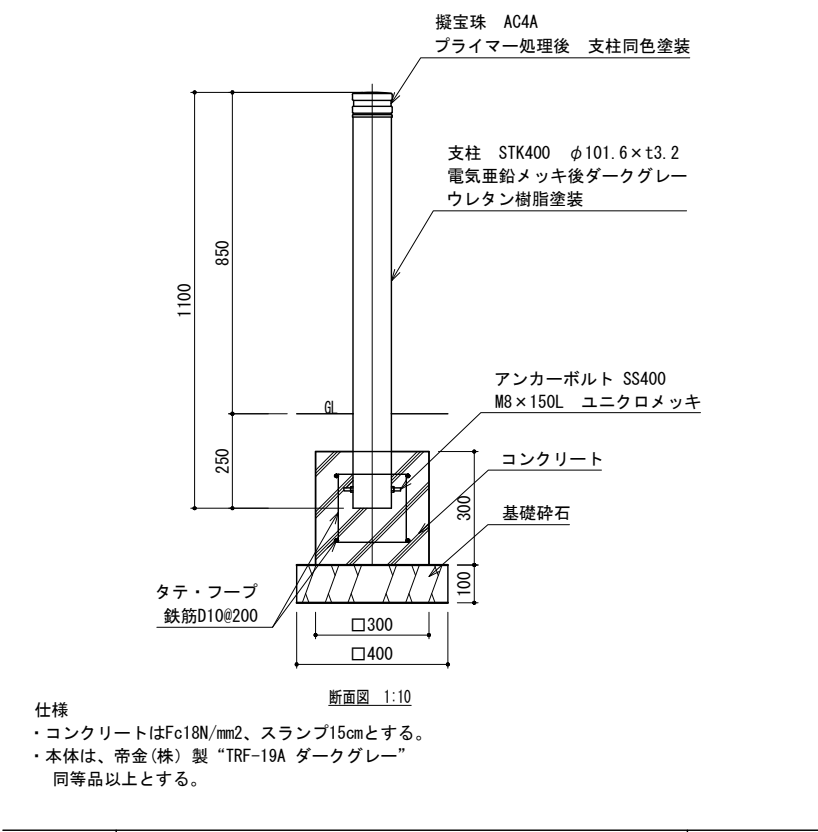
仕様
・コンクリート擁壁-5、6は、コンクリート化粧打放し(A種)の上保護塗料とする。
・階段及び擁壁のコンクリートはFc24N/mm²、スランプ 壁18cm、底板・床版15cmとする。
・手すりの基礎コンクリートはFc18N/mm²、スランプ15cmとする。

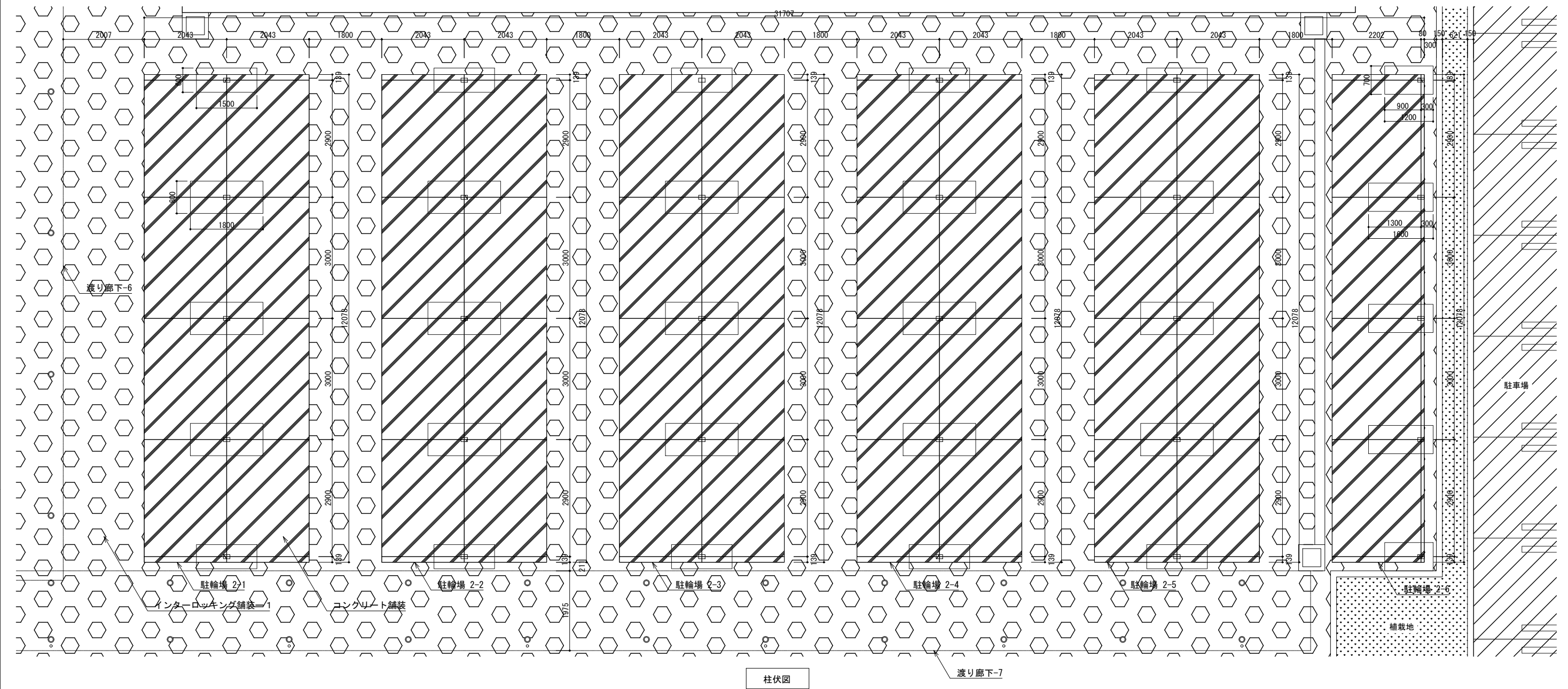
仕様
・タイルは、(株)LIXIL パティエノ
床、蹴上タイル PTI-210/4
段鼻タイル PTI-201/6
同等品以上とする。

仕様
・コーナー部、端部は面取りを行う

<p>公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課</p>	<p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	<p>設計番号 20240631-3 一級建築士 NO.272847 石井 康彦</p>	<p>一級建築士 NO.248486 木下 隆嗣 設備設計一級建築士 NO.4009</p>	<p>一級建築士 NO.334956 一級建築士 NO.4756 工藤 征志</p>	<p>工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 外構詳細図その5(エントランス階段・コンクリート擁壁)</p>	<p>図面番号 A1: 図示 A3: 図示</p>	<p>図面番号 A099</p>
---	---	--	--	--	---	-----------------------------------	----------------------

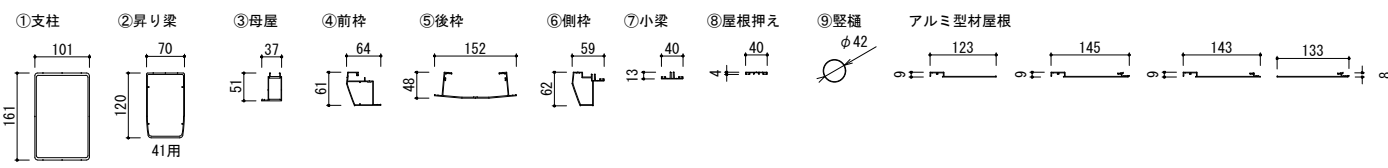






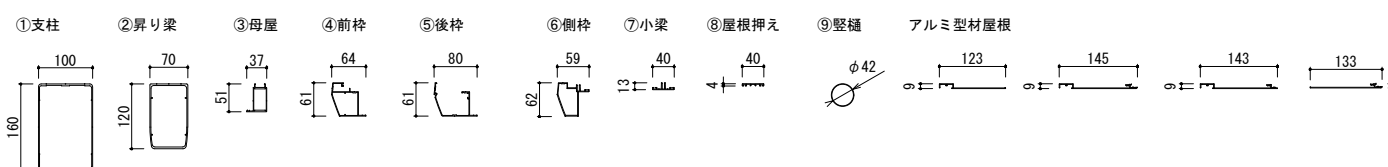
Y合掌タイプ

主要部材断面図 (S=1:6)



基本タイプ

主要部材断面図 (S=1:6)



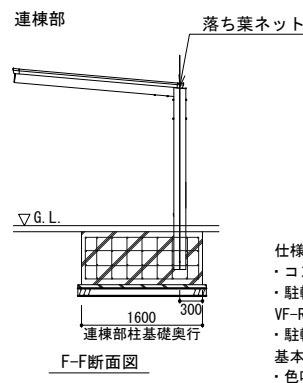
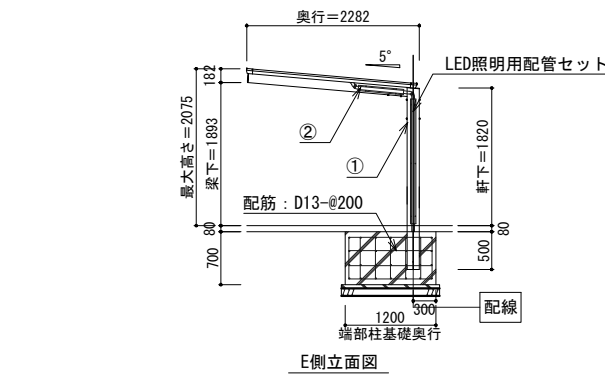
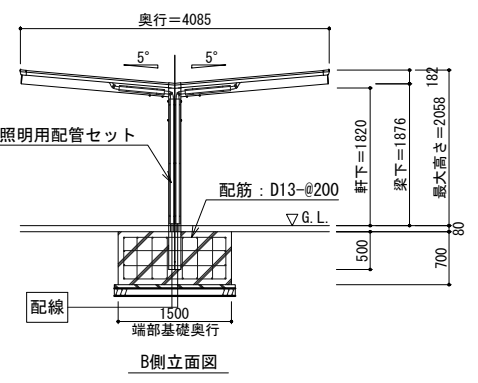
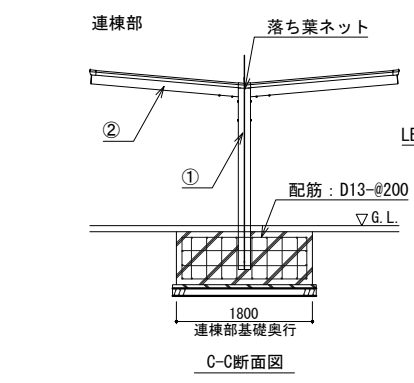
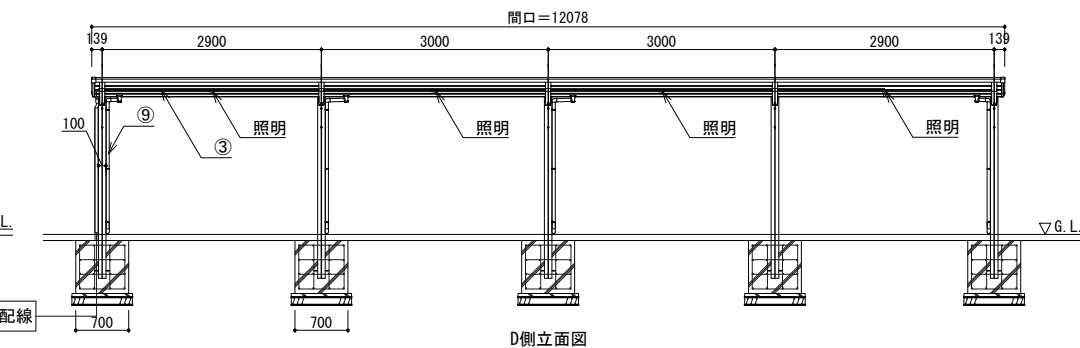
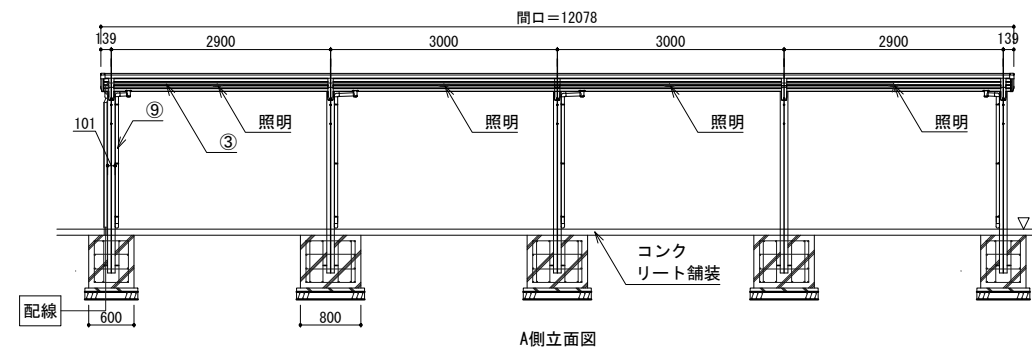
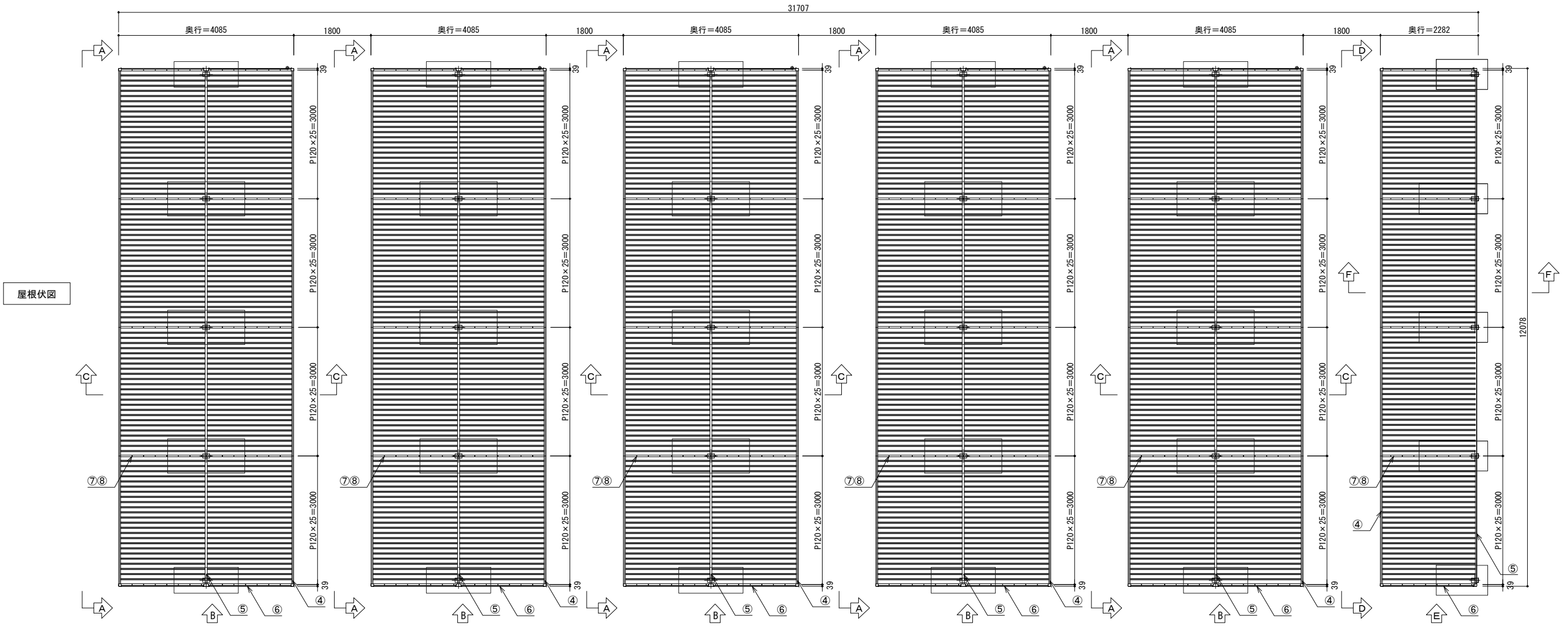
駐輪場 2 Y合掌タイプ 積載荷重600N/m2 部材表

主要部材	仕様(材質・塗装)	サイズ
① 支柱	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	161 × 101
② 昇り梁	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	120 × 70
③ 母屋	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	51.4 × 37
④ 前枠	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	63.5 × 61.4
⑤ Y合掌樋	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	151.6 × 48
⑥ 側枠	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	59 × 62.4
⑦ 小梁	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	40 × 12.5
⑧ 屋根押え	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	40 × 4.2
⑨ 縦樋	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	φ42
屋根材	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	1.2 t
ボルト類	SUS	

駐輪場 2 Y合掌タイプ 積載荷重600N/m2 部材表

主要部材	仕様(材質・塗装)	サイズ
① 支柱	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	160 × 100
② 昇り梁	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	120 × 70
③ 母屋	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	51.4 × 37
④ 前枠	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	63.5 × 61.4
⑤ 後枠	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	79.7 × 61.4
⑥ 側枠	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	59 × 62.4
⑦ 小梁	アルミ押出形材 (A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜	40 × 12.5
⑧ 屋根押え	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	40 × 4.2
⑨ 縦樋	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	φ42
屋根材	アルミ押出形材 (A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜	1.2 t
ボルト類	SUS	

- 仕様
- ・コンクリートはF_c18N/mm²、スラブ厚15cmとする。
 - ・駐輪場屋根-2は、四国化成建材(株)サイクルポートVF-R Y合掌タイプ(積雪荷重600N/m²) 同等品以上とする。
 - ・駐輪場屋根-3は、四国化成建材(株)サイクルポートVF-R 基本タイプ(積雪荷重600N/m²) 同等品以上とする。
 - ・色味はダークブラウン色とする。



駐輪場 2 Y合掌タイプ 積載荷重600N/m² 部材表

主要部材	仕様(材質・塗装)	サイズ
① 支柱	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	161×101
② 昇り梁	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	120×70
③ 母屋	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	51.4×37
④ 前枠	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	63.5×61.4
⑤ Y合掌樋	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	151.6×48
⑥ 側枠	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	59×62.4
⑦ 小梁	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	40×12.5
⑧ 屋根押え	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	40×4.2
⑨ 縦樋	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	φ42
屋根材	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	1.2 t
ボルト類	SUS	

駐輪場 2 Y合掌タイプ 積載荷重600N/m² 部材表

主要部材	仕様(材質・塗装)	サイズ
① 支柱	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	160×100
② 昇り梁	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	120×70
③ 母屋	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	51.4×37
④ 前枠	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	63.5×61.4
⑤ 後枠	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	79.7×61.4
⑥ 側枠	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	59×62.4
⑦ 小梁	アルミ押出型材(A6005CS)陽極酸化・塗装複合被膜	40×12.5
⑧ 屋根押え	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	40×4.2
⑨ 縦樋	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	φ42
屋根材	アルミ押出型材(A6063S)陽極酸化・塗装複合被膜	1.2 t
ボルト類	SUS	

仕様
 ・コンクリートはF_c18N/mm²、スランプ15cmとする。
 ・駐輪場 2-1~5は、四国化成建材(株)サイクルポート VF-R Y合掌タイプ(積雪荷重600N/m²) 同等品以上とする。
 ・駐輪場 2-6は、四国化成建材(株)サイクルポート VF-R 基本タイプ(積雪荷重600N/m²) 同等品以上とする。
 ・色味はダークブラウン色とする。

公立大学法人 滋賀県立大学
 高専開設準備局 総務・施設整備課

株式会社 東畑建築事務所
 TOMIYAMA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

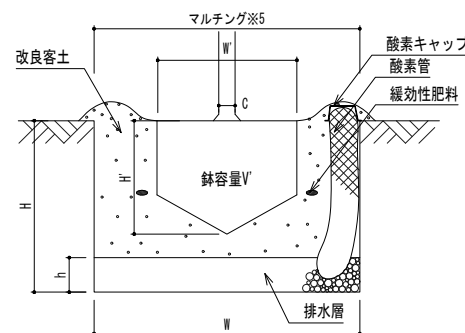
設計番号 20240631-3
 一級建築士 No.272847 一級建築士 No.248486 一級建築士 No.334956
 構造設計一級建築士 No.4009 設備設計一級建築士 No.4756
 石井 康彦 木下 隆嗣 工藤 征志

工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区)
 図面名称 外構詳細図その9 (駐輪場屋根)
 縮尺 A1: 図示 A3: 図示
 図面番号 A103

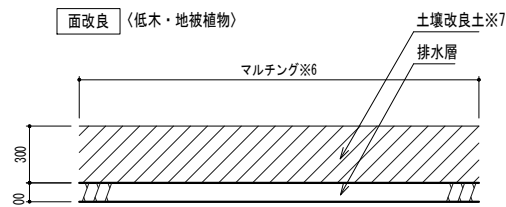
土壌改良

土壌改良、マルチング

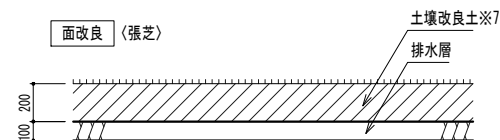
植穴改良



面改良 (低木・地被植物)

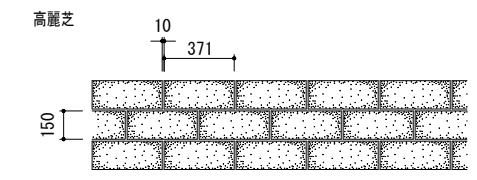


面改良 (張芝)



C/H	W'	H'	W	H	V'	V	排水層h	客土量※1		客土材内訳 (8.5:1.5)		残土量 ※4	緩効性肥料※3		酸素管 φ150		酸素管キャップ	
								植穴容量 ※2	排水層容量	植栽用客土 85% (x1.1)	植物繊維改良材 15% (x1.1)		本数	長さ				
(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(m3)	(m3)	(cm)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(g)	(個)	(本)	(m)	(個)		
高木 (幹周)	1 10未満	33	25	69	45	0.017	0.120	8	30	0.073	0.068	12	0.064	180	12	2	0.6	2
	2 10以上 15未満	38	28	75	48	0.028	0.175	8	35	0.112	0.105	18	0.088	180	12	2	0.6	2
	3 15以上 20未満	47	33	87	56	0.061	0.329	10	59	0.209	0.195	34	0.167	231	15	2	0.6	2
	4 20以上 25未満	57	39	99	63	0.110	0.517	10	77	0.330	0.309	54	0.260	283	18	2	1.0	2
	5 25以上 30未満	66	45	111	69	0.170	0.747	10	97	0.480	0.449	79	0.373	283	18	2	1.0	2
	6 30以上 35未満	71	48	117	77	0.210	0.921	15	161	0.550	0.514	91	0.499	386	25	2	1.0	2
	7 35以上 45未満	90	59	141	90	0.400	1.574	15	234	0.940	0.879	155	0.853	449	29	3	1.0	3
	8 45以上 60未満	113	74	171	105	0.740	2.624	15	344	1.540	1.440	254	1.447	514	33	3	1.5	3
	9 60以上 75未満	141	91	207	129	1.320	4.373	20	673	2.380	2.225	393	2.585	1,029	66	4	1.5	4
	10 75以上 90未満	170	108	243	153	2.080	6.609	25	1,159	3.370	3.151	556	4.119	1,029	66	5	1.5	5
中低木 (樹高)	1 30未満	15	8	29	28	0.001	0.018	5	3	0.014	0.013	2	0.007	90	6	—	—	—
	2 30以上 50未満	17	10	33	31	0.002	0.026	5	4	0.020	0.019	3	0.010	90	6	—	—	—
	3 50以上 80未満	20	12	37	33	0.004	0.035	5	5	0.026	0.024	4	0.015	116	7	—	—	—
	4 80以上 100未満	22	13	41	36	0.005	0.047	5	7	0.035	0.033	6	0.019	116	7	—	—	—
	5 100以上 150未満	26	16	46	43	0.008	0.070	8	13	0.049	0.046	8	0.032	154	10	2	0.6	2
	6 150以上 200未満	30	19	54	48	0.013	0.108	8	18	0.077	0.072	13	0.047	154	10	2	0.6	2
	7 200以上 250未満	35	23	61	56	0.022	0.162	10	29	0.111	0.104	18	0.075	231	15	2	0.6	2
	8 250以上 300未満	40	26	69	61	0.032	0.225	10	37	0.156	0.146	26	0.102	231	15	2	0.6	2

※1・客土量の歩留まりを考慮し1.1倍とする。
 ※2・国土交通省基準に準拠している。
 ※3・緩効性肥料の量は(財)日本緑化センター作成の植栽基盤技術マニュアルを基に算出した。
 ※4・残土量=改良材(鉢容量×1.1)+(黒曜石パーライト×1.1)
 ※5・中高木のマルチングは、針葉樹皮t20とする。(斜面部は糊入りマルチングとする)
 ※6・低木・地被植物のマルチングは、針葉樹皮t10とする。
 ※7・低木・地被植物及び張芝の土性改良材は植穴容量に対し、容積比で購入真砂土：パーク堆肥：真珠岩系パーライト(5mm以下)を65：15：20の割合で均一によく混合すること。
 ※植栽用客土は搬入盛土材または現地発生土を用いる。現場の土壌を調査の上、上表により難しい場合は、改良方法の検討を行うこと。
 ※植物繊維改良材は、東邦レオ(株)製：オールインワン同等品以上とする。
 ※緩効性肥料は、東邦レオ(株)製：グリーンフード同等品以上とする。
 ※酸素管は、東邦レオ(株)製：D0パイプ同等品以上とする。

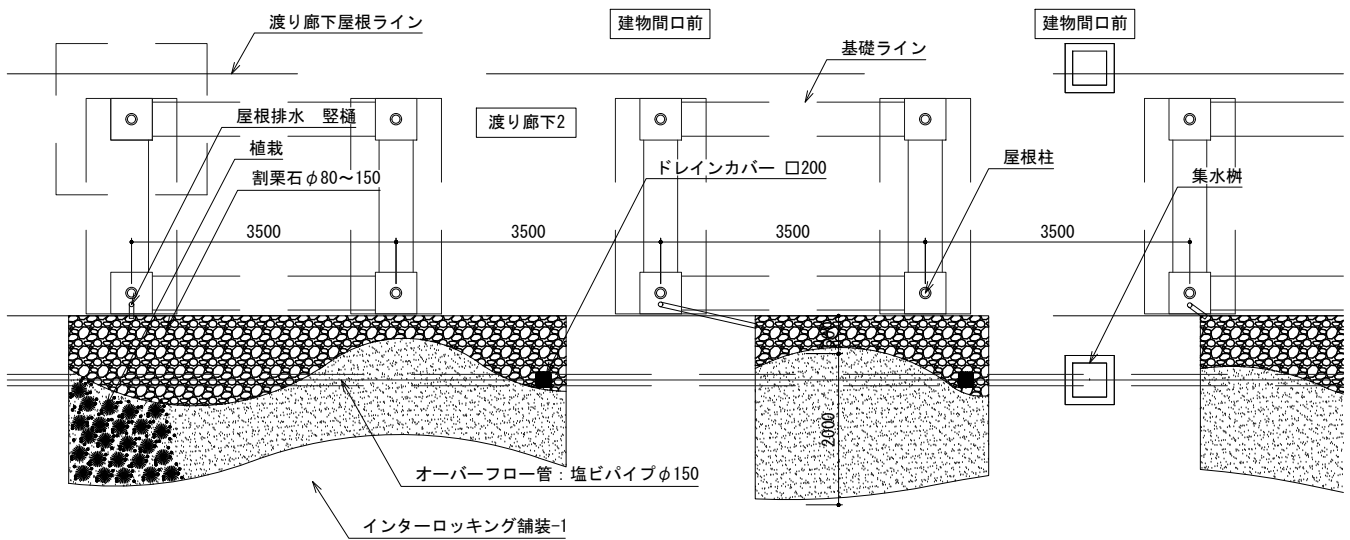
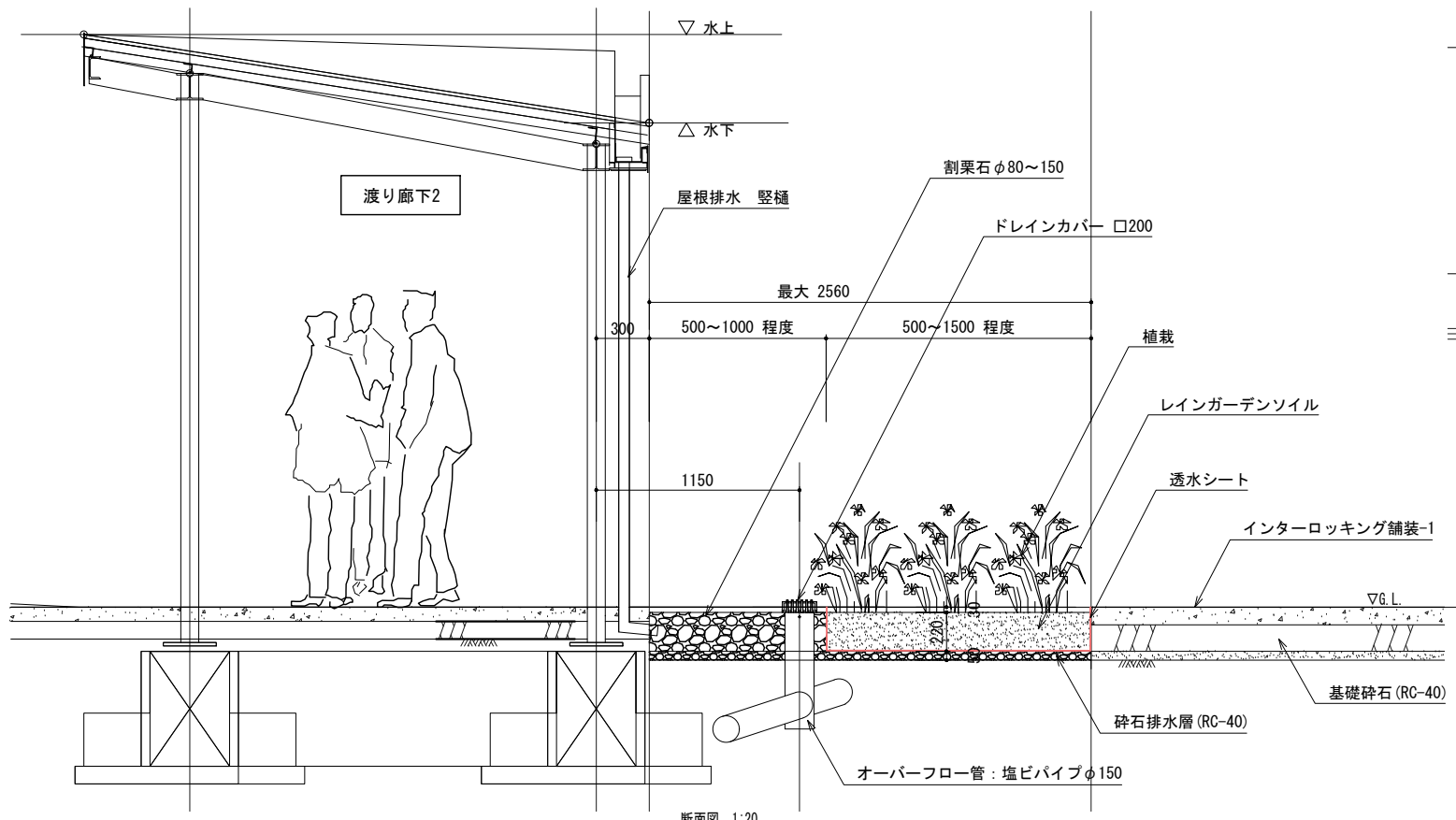


(100.0㎡ 当り)

名称	形状寸法	単位	小版(高麗芝) 100%張
芝		㎡	100.0
山砂		㎡	2.7

・法面施工時には芝を2本/枚使用する。

レインガーデン部分詳細図



【仕様】
 ・割栗石はグレー系とする。
 ・砕石排水層は東邦レオ「グリーンアクアミックス」同等品以上とする。
 ・レインガーデンソイルは、東邦レオ「レインガーデンソイル」同等品以上とする。
 ・透水シートは、東邦レオ「スーパーインフィルシート」同等品以上とする。
 ・ドレインカバーは、日之出水道「グリーンキューブドレイン」同等品以上とする。
 ・オーバーフロー管は、監督員の指示に従い適切な位置に配置すること。
 ・植栽はシラン：ノシラン：ヤブラン：フィリヤブランを1：1：1：1で、9株/㎡の割合で配植すること。

部分平面図 1:50

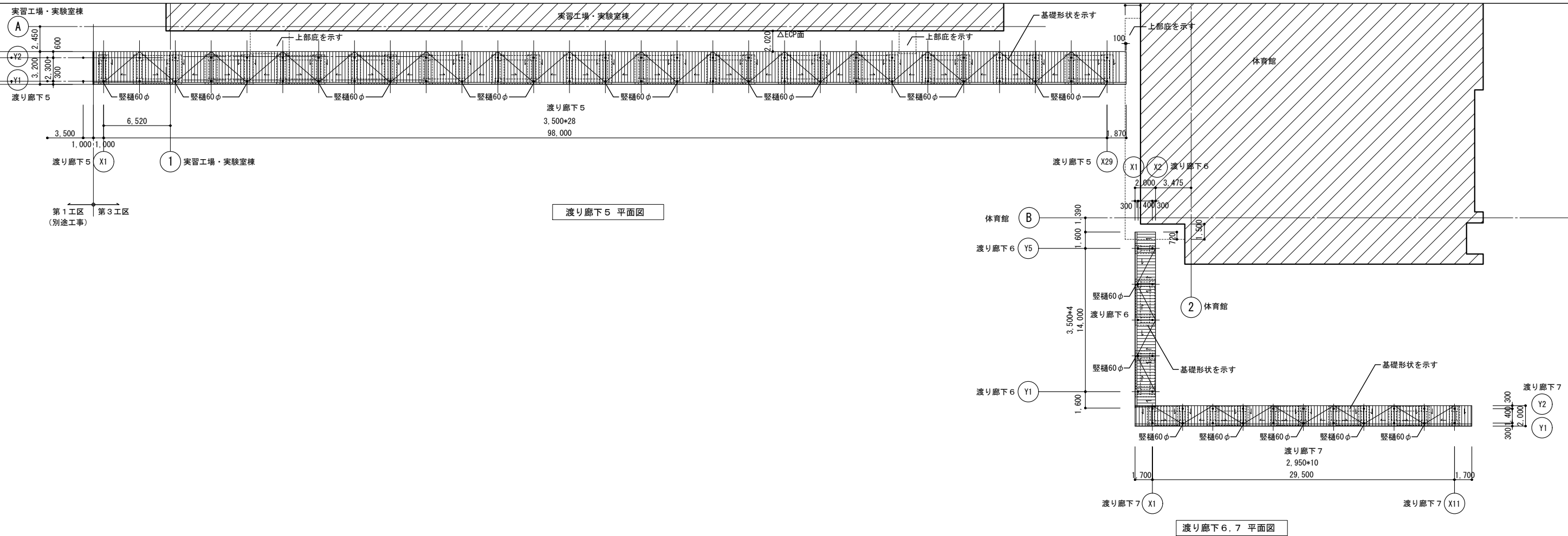
断面図 1:20

<p>二脚鳥居支柱-1 (添木なし)</p> <p>A1 1/20 A3 1/40</p> <p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉丸太は、防腐処理を行う。 ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。 ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線掛けの上、割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。 ・鉄線端部は、支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。 ・杉丸太は面取りを行う。 ・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄掛けとし、2本どり3回巻きを標準とする。 	<p>二脚鳥居支柱-2 (添木付)</p> <p>A1 1/20 A3 1/40</p> <p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉丸太は、防腐処理を行う。 ・鉄線は、亜鉛めっき鉄線#18 又は、#18 より太いものを使用する。 ・丸太相互の取付けは、釘止めを行い、鉄線掛けの上、割掛け結束とし、2本どり3回巻き以上とする。 ・鉄線端部は、支柱結束部の内側に巻き込み処理を行う。 ・杉丸太は面取りを行う。 ・樹木と支柱の結束は、しゅろ縄掛けとし、2本どり3回巻きを標準とする。 ・添え柱は3ヶ所以上樹幹に結束する。 	<p>生垣支柱</p> <p>A1 1/20 A3 1/40</p> <p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐竹は、真直な2年生以上の真竹で、病虫害がなく変色していないものとし、上端締めとする。 ・杉皮は、大節、穴割れ、朽ちのないものとする。 ・棕縄による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とする。 	<p>地下式支柱</p> <p>A1 Non A3 Non</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地下式支柱</th> <th>幹周適応範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下式支柱-A</td> <td>0.10m以上~0.19m以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地下式支柱-B</td> <td>0.20m以上~0.29m以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地下式支柱-C</td> <td>0.25m以上~0.34m以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地下式支柱-D</td> <td>0.35m以上~0.59m以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 地下式支柱-E</td> <td>0.50m以上~0.74m以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地下式支柱-F</td> <td>0.70m以上~0.89m以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※地下式支柱は、植穴下部にセットされた抵抗板と地下部の根鉢とを、ワイヤー等で結束する樹木地下支持システムとする。 ※地下式支柱は、風速60mに耐えられるものとする。 ※地下式支柱は、東邦レオ(株)製：フィット・SGS同等品以上とする。 ※上記以外の地下式支柱の使用に当たっては、構造計算書の資料を提出の上、監督員の承諾を得ること。</p>	地下式支柱	幹周適応範囲	備考	地下式支柱-A	0.10m以上~0.19m以下		地下式支柱-B	0.20m以上~0.29m以下		地下式支柱-C	0.25m以上~0.34m以下		地下式支柱-D	0.35m以上~0.59m以下		● 地下式支柱-E	0.50m以上~0.74m以下		地下式支柱-F	0.70m以上~0.89m以下	
地下式支柱	幹周適応範囲	備考																						
地下式支柱-A	0.10m以上~0.19m以下																							
地下式支柱-B	0.20m以上~0.29m以下																							
地下式支柱-C	0.25m以上~0.34m以下																							
地下式支柱-D	0.35m以上~0.59m以下																							
● 地下式支柱-E	0.50m以上~0.74m以下																							
地下式支柱-F	0.70m以上~0.89m以下																							

<p>法面網柵(シガラ)</p> <p>A1 1/20 A3 1/40</p> <p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割竹の端部は、しゅろ縄等によりバラバラにならないように、結束すること。 	<p>樹名板</p> <p>A1 1/5 A3 1/10</p> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※埋込式樹名板は、アボック社製：角解説QRラベル/樹脂ポール1号と同等品以上とする。 ※部材寸法は標準値とする。 ※表示内容、設置位置は監督員と協議の上決定とする。 ※ベースプレート(黒色)は再生樹脂とし、エコマーク認定製品とする。
--	--

<p>公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課</p>	<p>設計番号 20240631-3</p> <p>一級建築士 NO.272847 石井 康彦</p>	<p>検</p>	<p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p> <p>一級建築士 NO.248486 木下 隆嗣</p>	<p>一級建築士 NO.334956 工藤 征志</p>	<p>工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区)</p> <p>図面名称 外構詳細図その11 (樹木支柱)</p> <p>縮尺 A1: 図示 A3: 図示</p>	<p>図面番号 A105</p>
---	---	----------	--	------------------------------	--	------------------

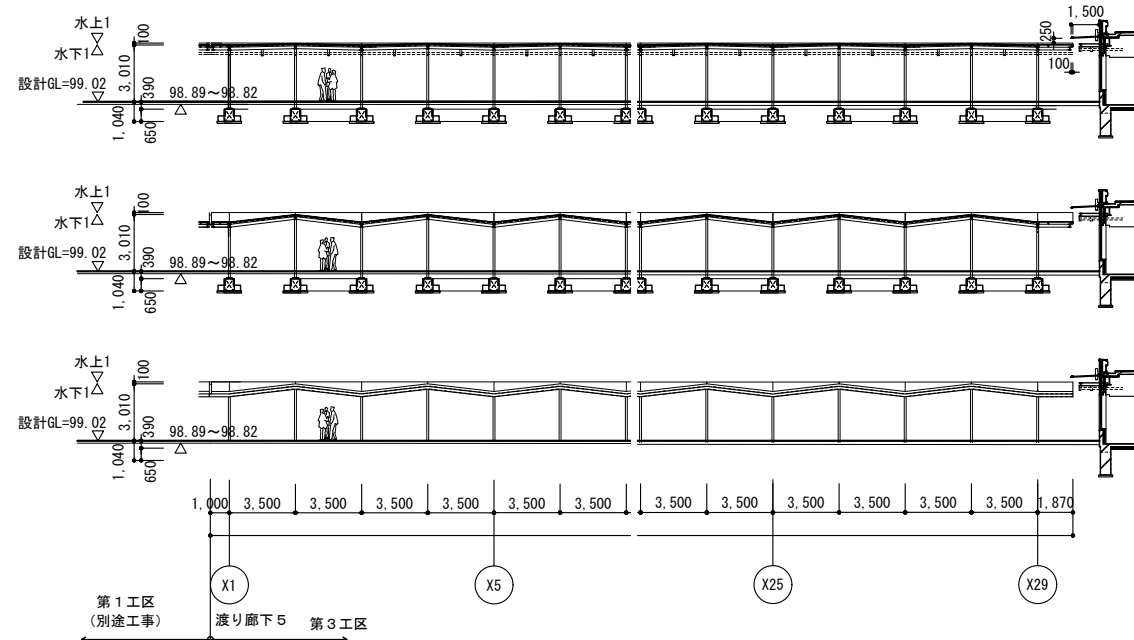
渡り廊下5, 6, 7 平面図



渡り廊下5 平面図

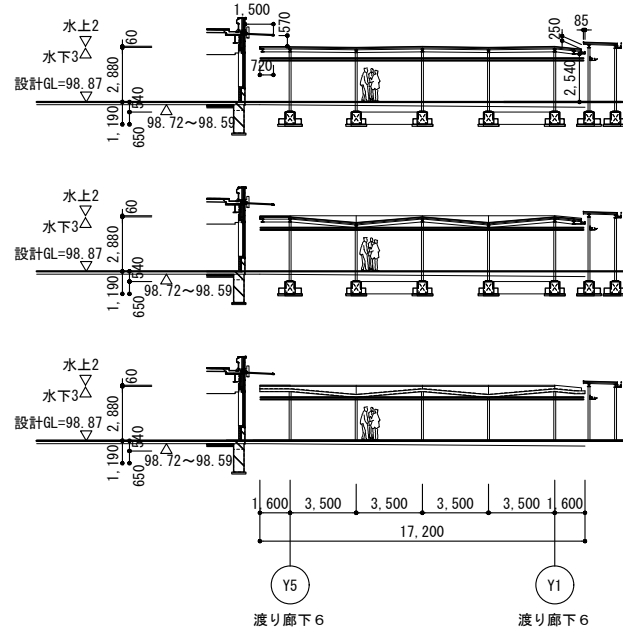
渡り廊下6, 7 平面図

渡り廊下5 立面図・断面図



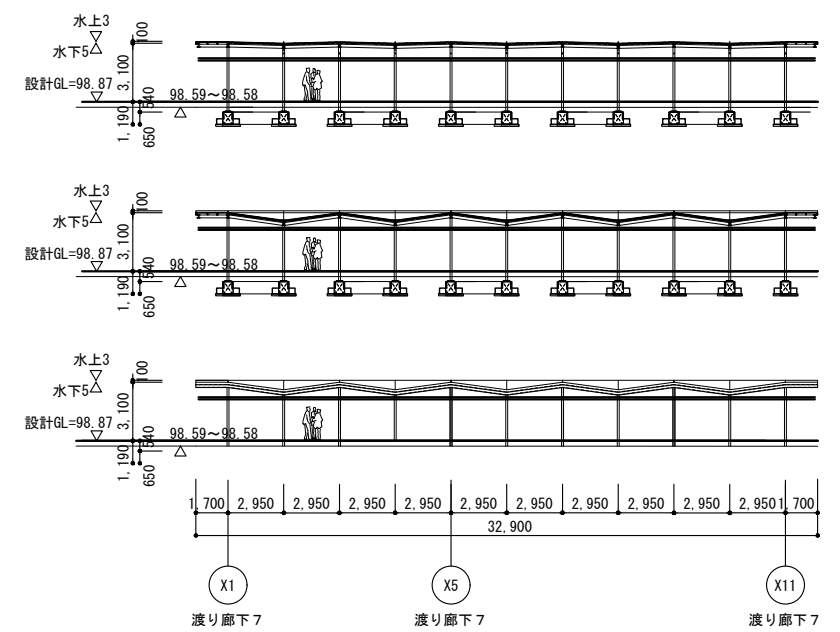
渡り廊下5 立面図・断面図

渡り廊下6 立面図・断面図



渡り廊下6 立面図・断面図

渡り廊下7 立面図・断面図



渡り廊下7 立面図・断面図

公立大学法人 滋賀県立大学
高専開設準備局 総務・施設整備課



株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計番号
20240631-3
一級建築士 No.272847
石井 康彦

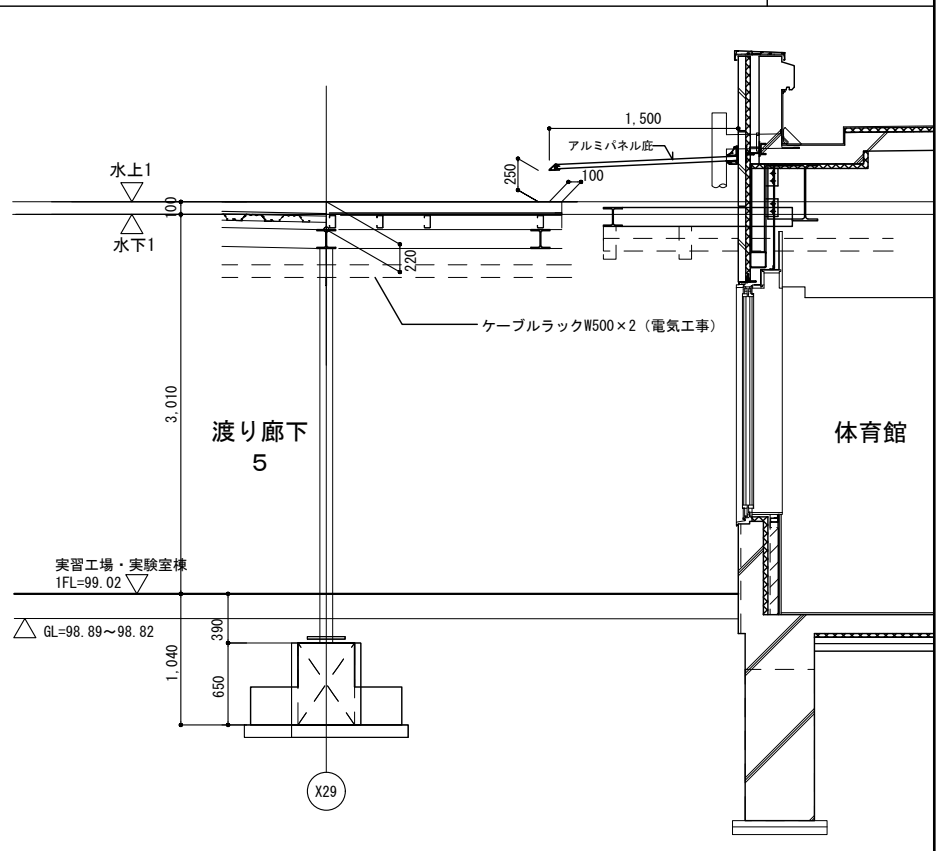
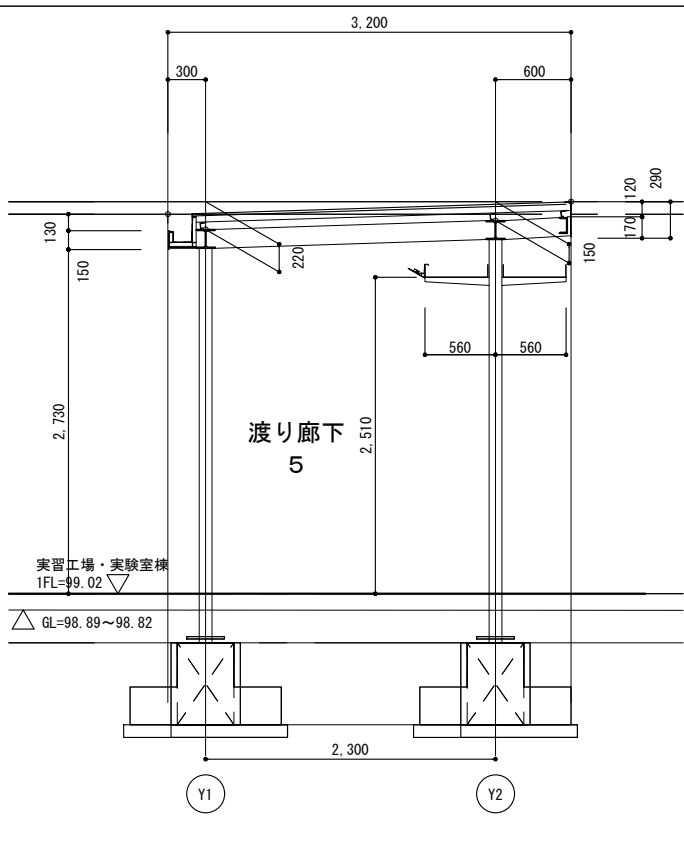
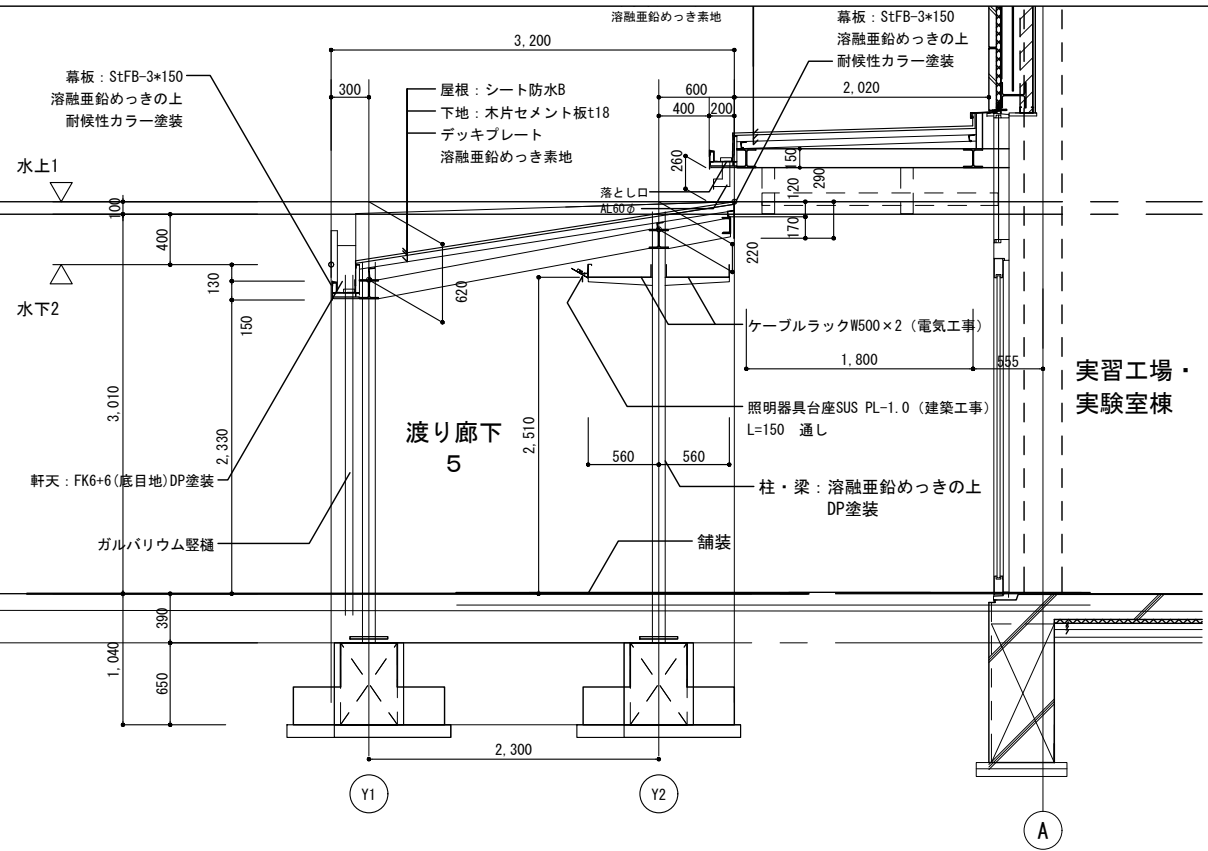
一級建築士 No.248486
構造設計一級建築士 No.4009
木下 隆嗣

一級建築士 No.334956
設備設計一級建築士 No.4756
工藤 征志

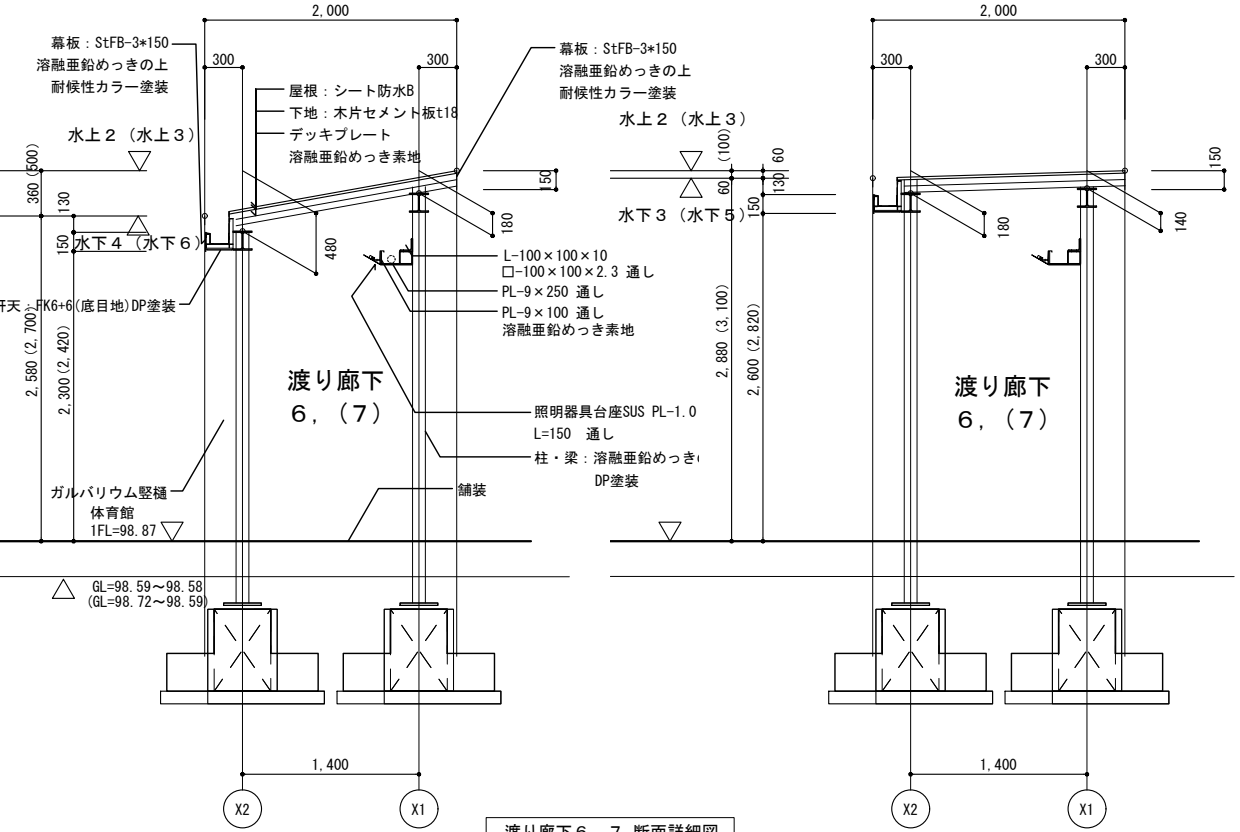
工事名称 滋賀県立高等専門学校
新築工事(第3工区)
図面名称 渡り廊下 詳細図その1

縮尺 A1: 1/200
A3: 1/400

図面番号
A106

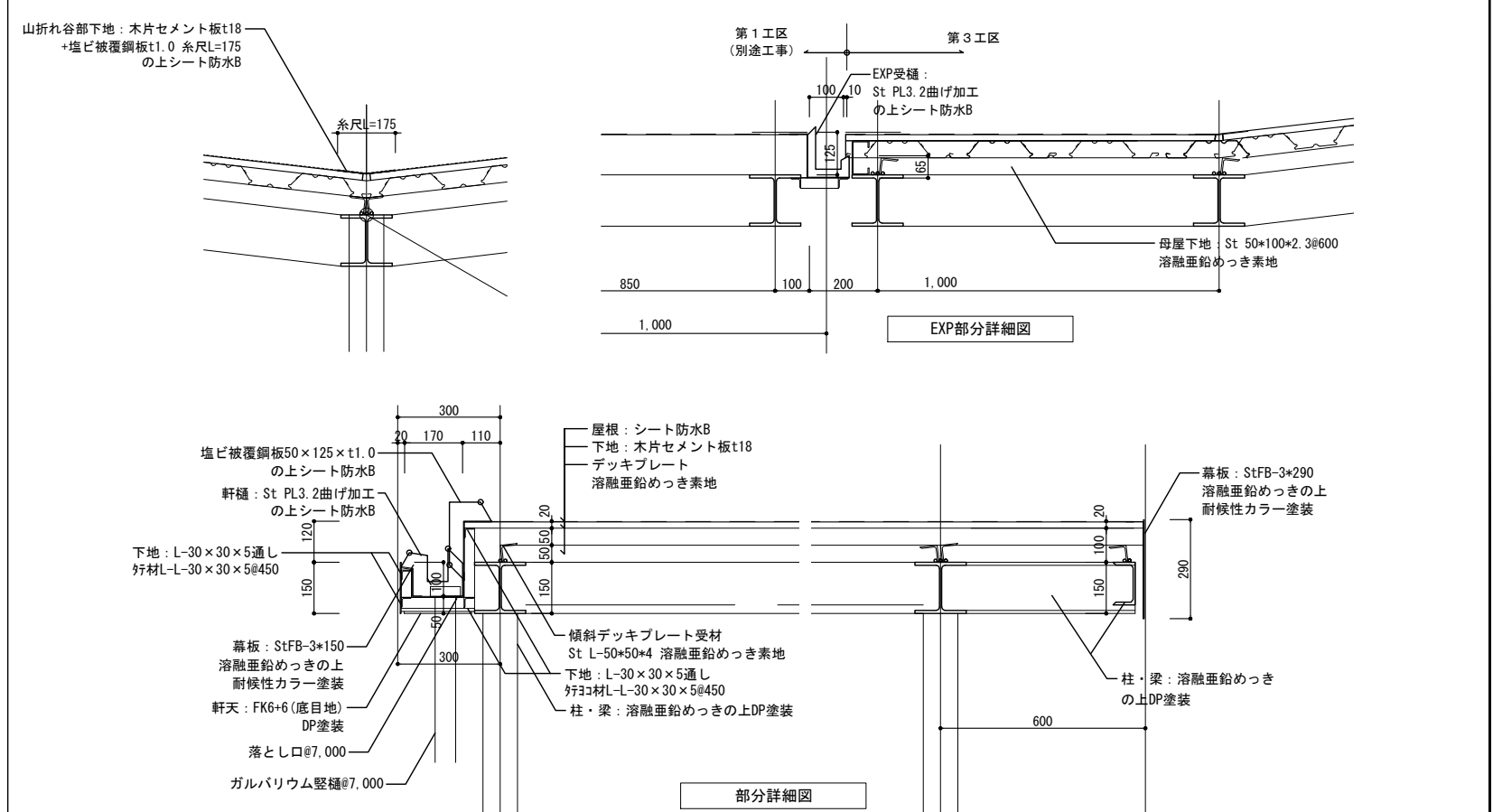


渡り廊下5 断面詳細図



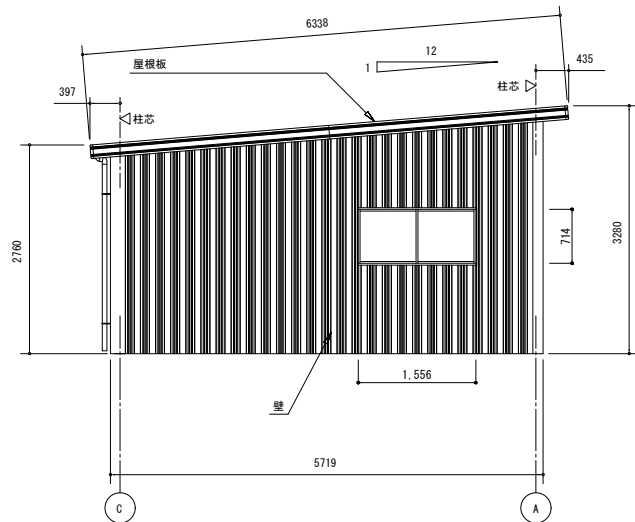
渡り廊下6, 7 断面詳細図

※ () 内表記は渡り廊下7を示す

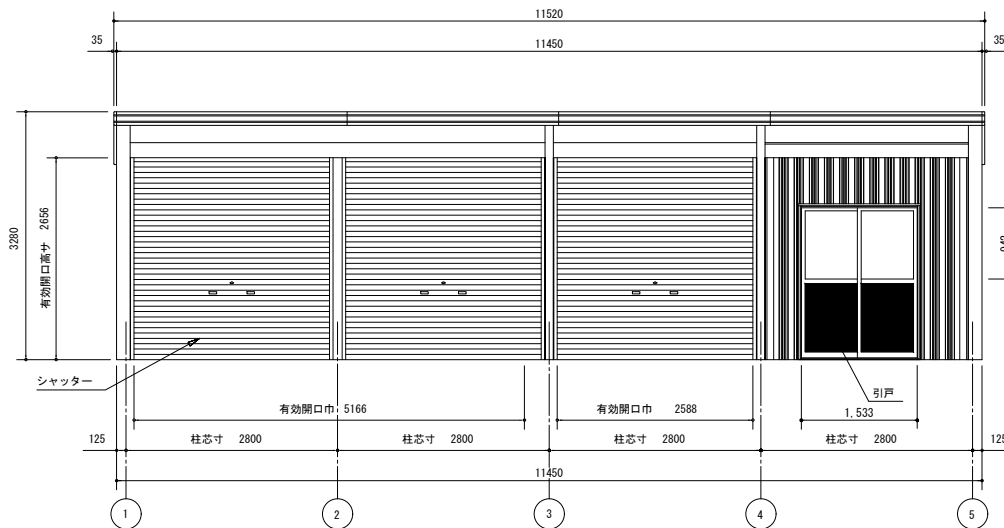


部分詳細図

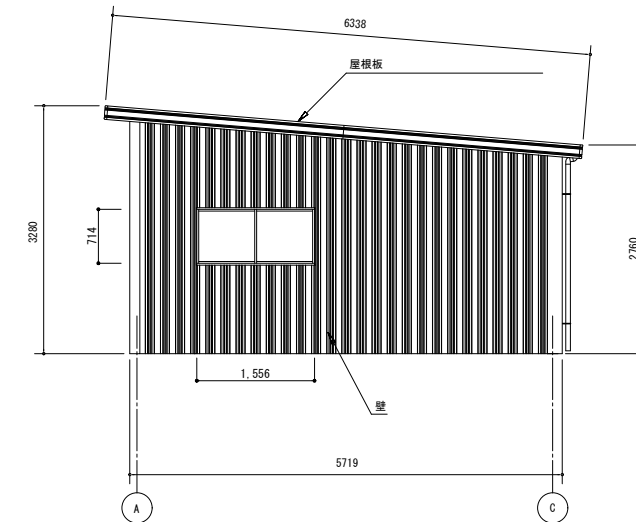
公立大学法人 滋賀県立大学 高専開校準備局 総務・施設整備課		株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3 一級建築士 No.272847 石井 康彦	一級建築士 No.248486 構造設計一級建築士 No.4009 木下 隆嗣	一級建築士 No.334956 設備設計一級建築士 No.4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 渡り廊下 詳細図その2 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 A107
-----------------------------------	--	---	--	---	---	--	--------------



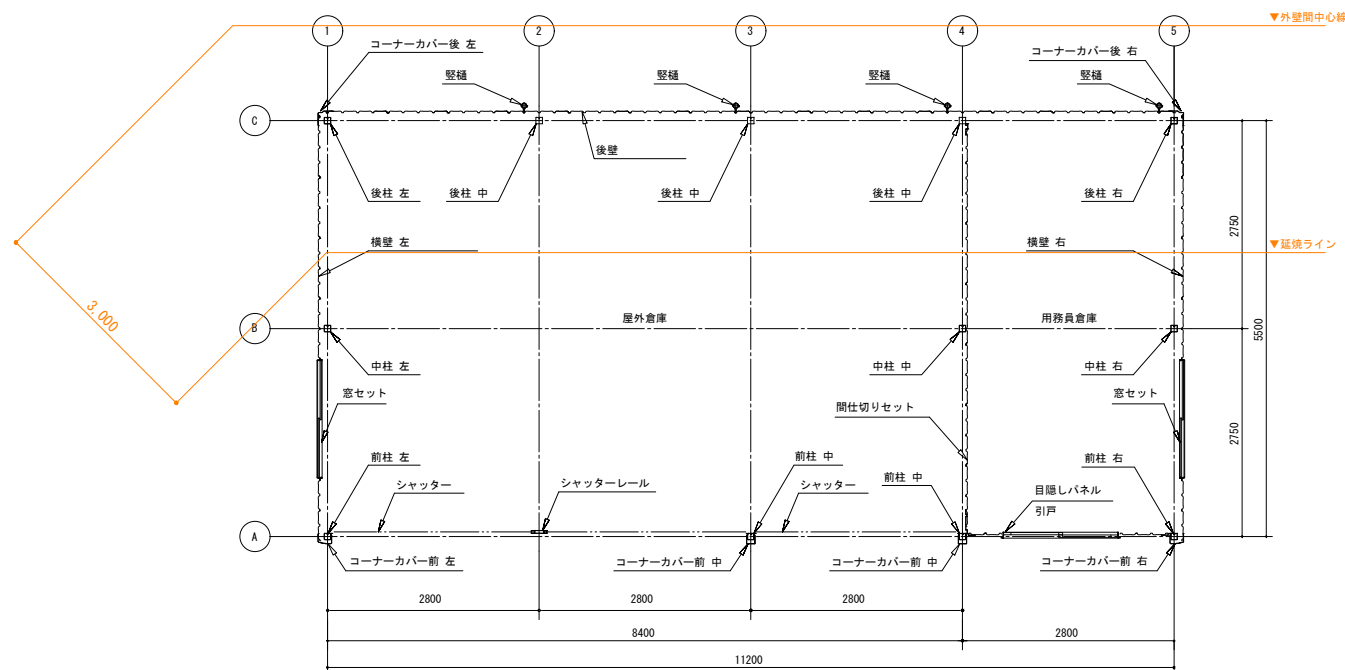
北立面図 S=1/50



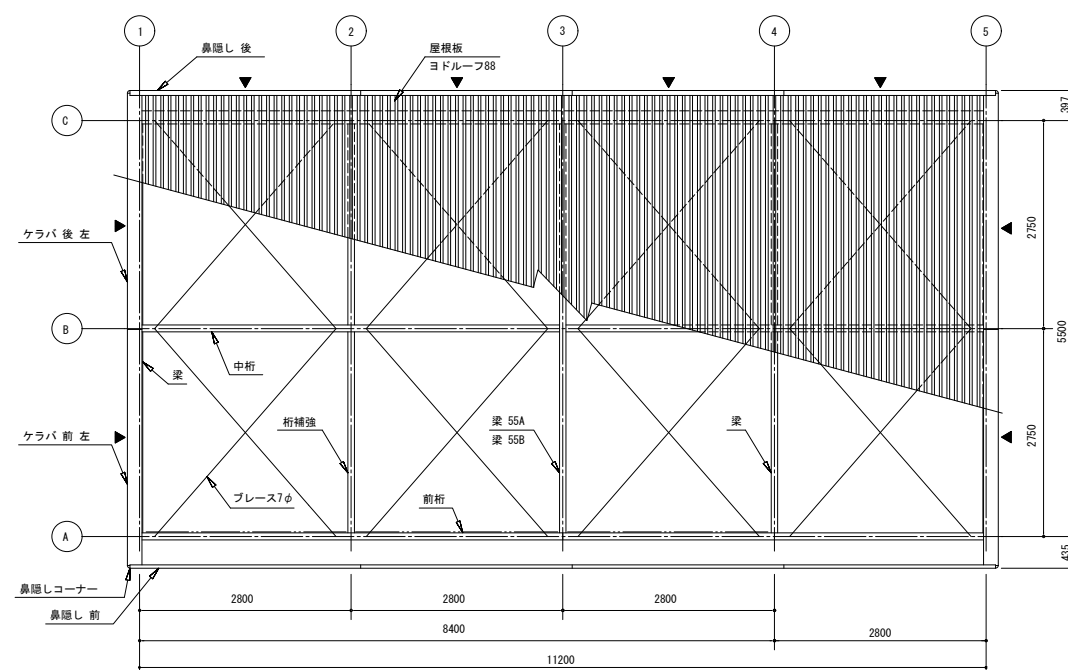
西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50

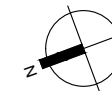


平面図 S=1/50

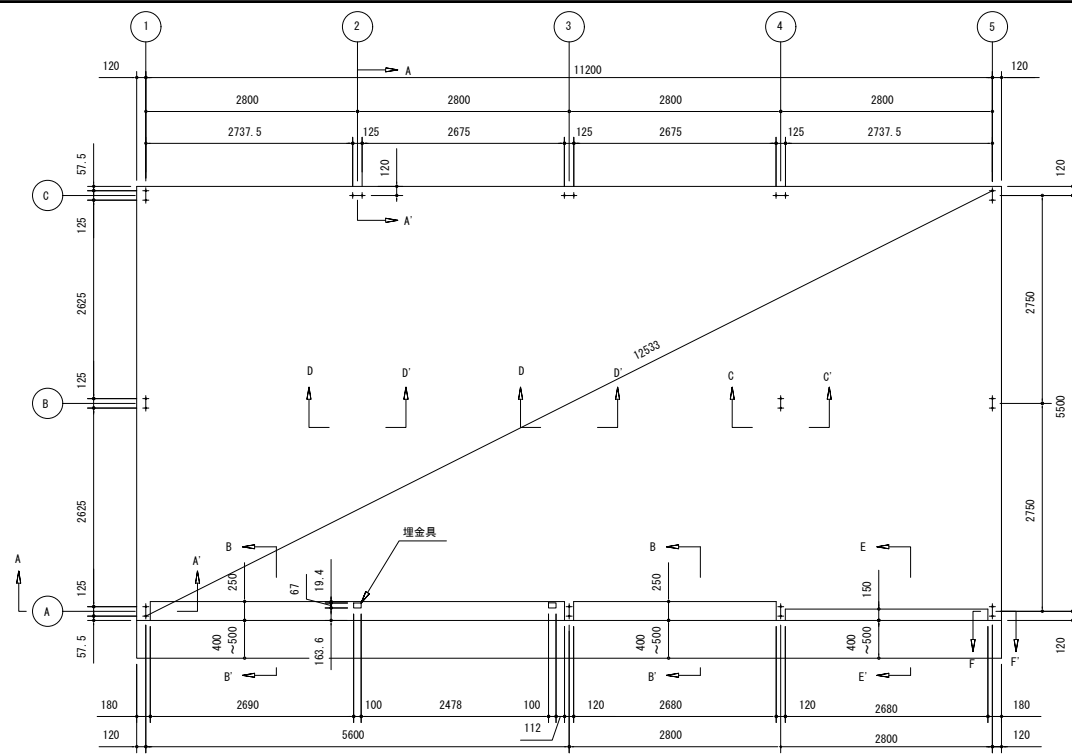


小屋伏図 S=1/50

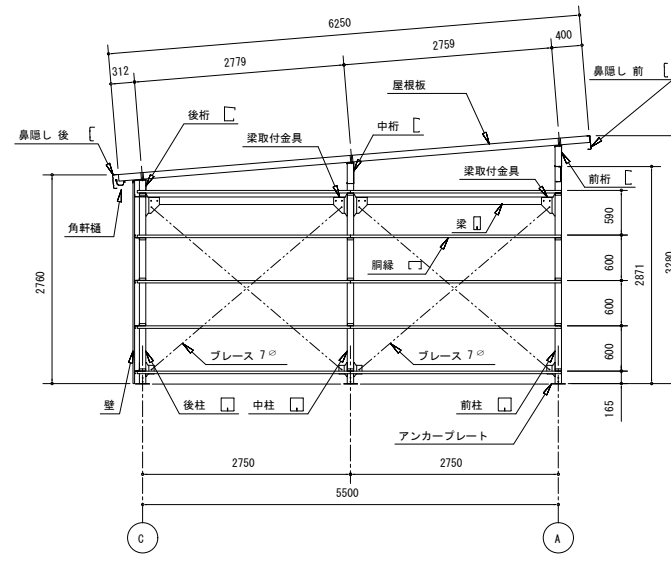
▼ は、ブレースφとする。



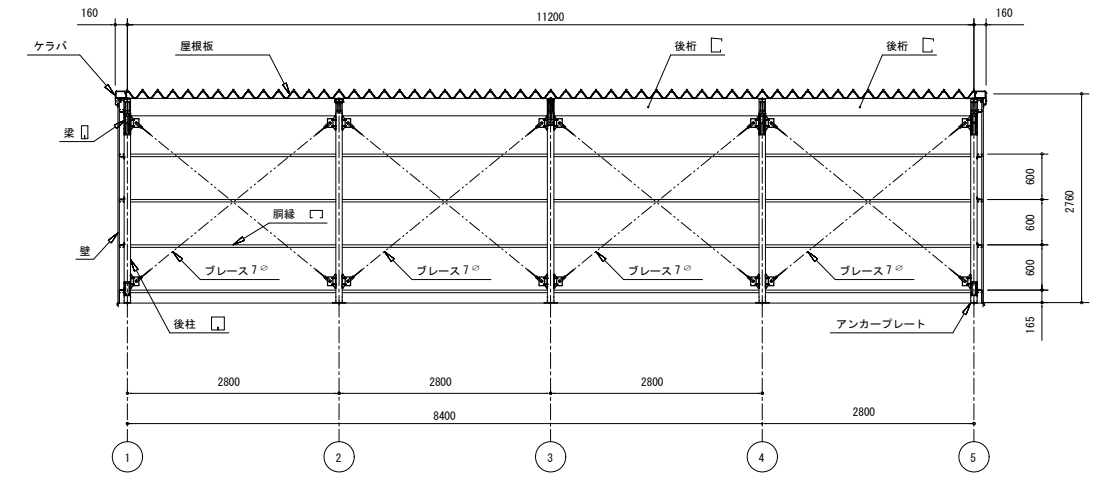
公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課		株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	一級建築士 NO.248486	一級建築士 NO.334956	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区) 図面名称 屋外倉庫詳細図 その1 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A108
			一級建築士 NO.272847 石井 康彦	構造設計一級建築士 NO.4009 木下 隆嗣	設備設計一級建築士 NO.4756 工藤 征志		



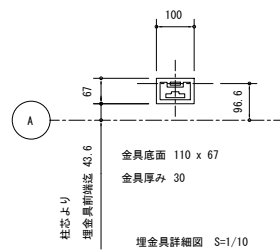
基礎伏図 S=1/50



側面断面図 S=1/50

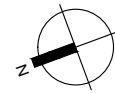


正面断面図 S=1/50

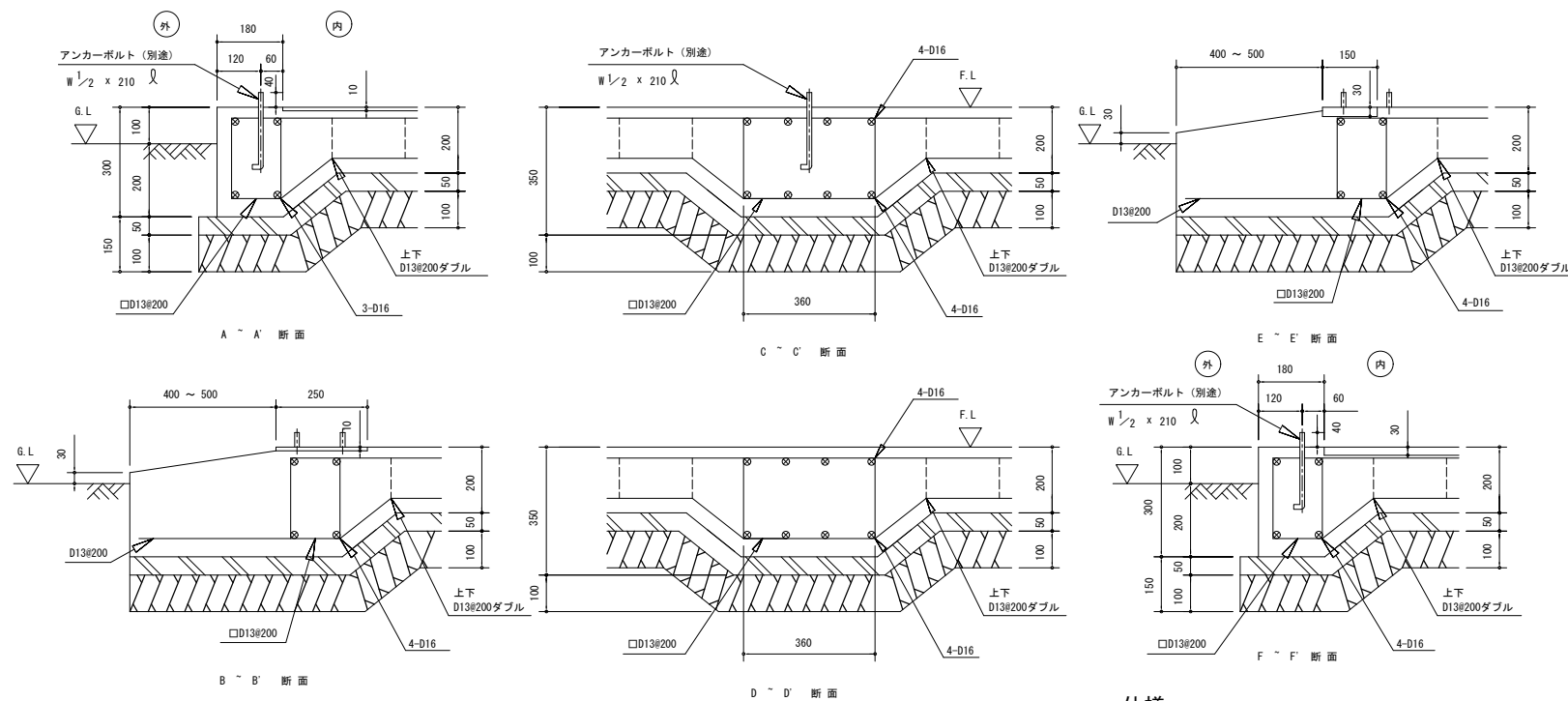


埋金具詳細図 S=1/10

アンカーボルトの止結は、
ダブルナット等の戻り止め
を施す事。



・ベタ基礎断面図 縮尺=1/10



仕様

・コンクリートはFc24N/mm²、スランプ15cmとする。

建築面積	61.6m ²	(間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)
------	--------------------	---------------------

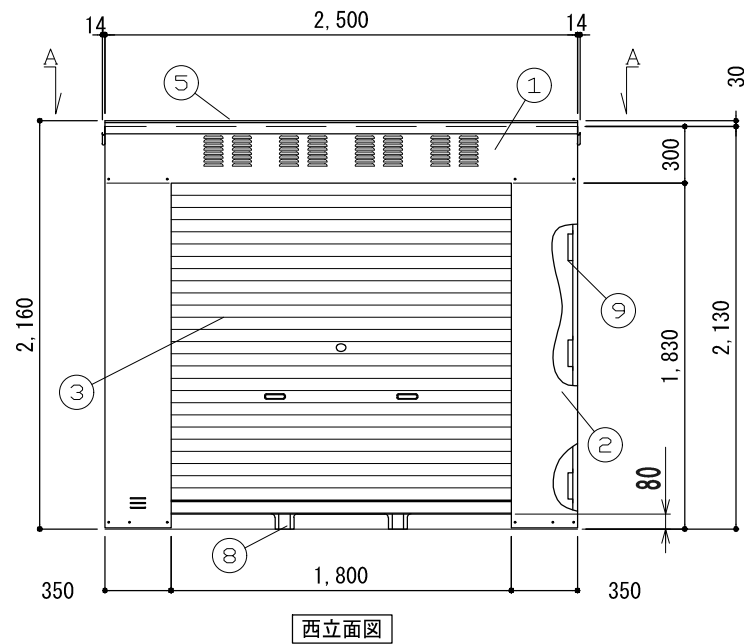
構造耐力上主要な部分の部材

部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	□ — 85 x 85	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	102
柱	□ — 85 x 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	104
梁	□ — 100 x 50	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
梁 (55A-55B)	□ — 400 x 85 x 30	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁 (前)	□ — 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁 (中)	□ — 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁 (後)	□ — 230 x 150 x 35	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	-
ブレース	—	7.0φ	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	-
ターンバックル	—	7.0φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼 STKM	-
アンカープレート	—	6.0mm	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	-

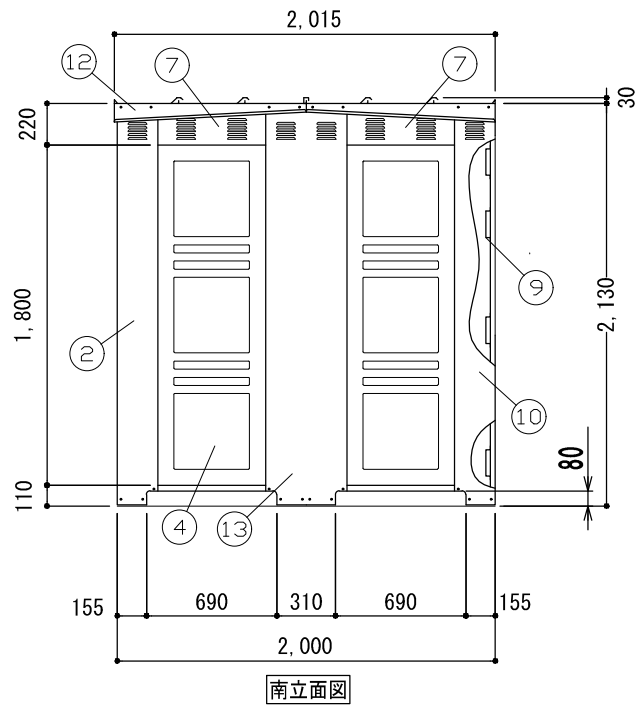
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
胴縁	□ — 54 x 33 x 10	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
屋根	折板屋根 4mm発泡ポリエチレン貼り	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁	角波サイディング	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し・ケラバ	-	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
桁補強 (前)	-	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
桁補強 (後)	-	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター	-	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前板 (H)	-	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
トイ	塩ビ製 角樋	-	-

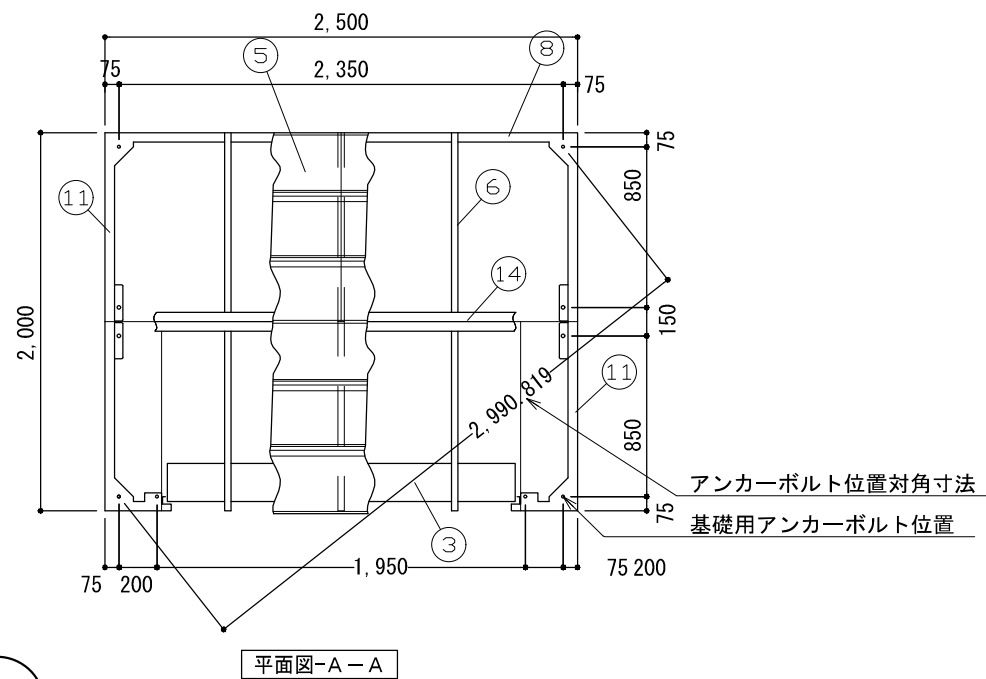
公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3 一級建築士 NO.272847 石井 康彦	一級建築士 NO.248486 構造設計一級建築士 NO.4009 木下 隆嗣	一級建築士 NO.334956 設備設計一級建築士 NO.4756 工藤 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事 (第3工区) 図面名称 屋外倉庫詳細図 その2 縮尺 A1: 1/10, 50 A3: 1/20, 100	図面番号 A109
-----------------------------------	---	--	---	---	--	--------------



西立面図



南立面図

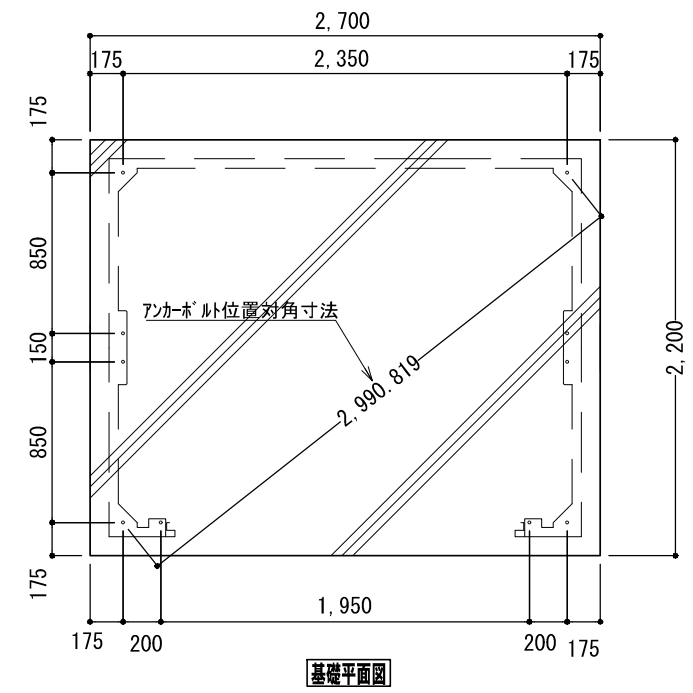


平面図-A-A

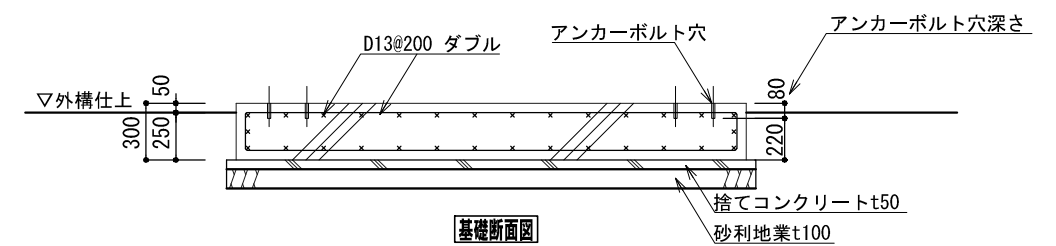
表面処理：静電焼付粉体塗装（指定色）
 防火設備（乙種防火シャッター仕様）
 製造所：ホクエイ「BN-950D」又は同等品以上

14	前後繫梁	1	めっき鋼板
13	前後繫柱	右1左1	めっき鋼板
12	屋根受け雨樋	右2左2	高耐食めっき鋼板
11	左右土台	4	高耐食めっき鋼板
10	後柱	右1左1	めっき鋼板
9	棟柱	側6後4	めっき鋼板
8	後土台	1	高耐食めっき鋼板
7	側梁	4	めっき鋼板
6	母屋	6	めっき鋼板
5	繋ぎ屋根	前1後1	高耐食めっき鋼板
	屋根	前1後1	高耐食めっき鋼板
4	側パネル	4	めっき鋼板
3	シャッター	1	めっき鋼板 t0.8
2	前柱	右1左1	めっき鋼板
1	前梁	1	めっき鋼板

仕様
 ・コンクリートはFc24N/mm²、スランブ15cmとする。



基礎平面図



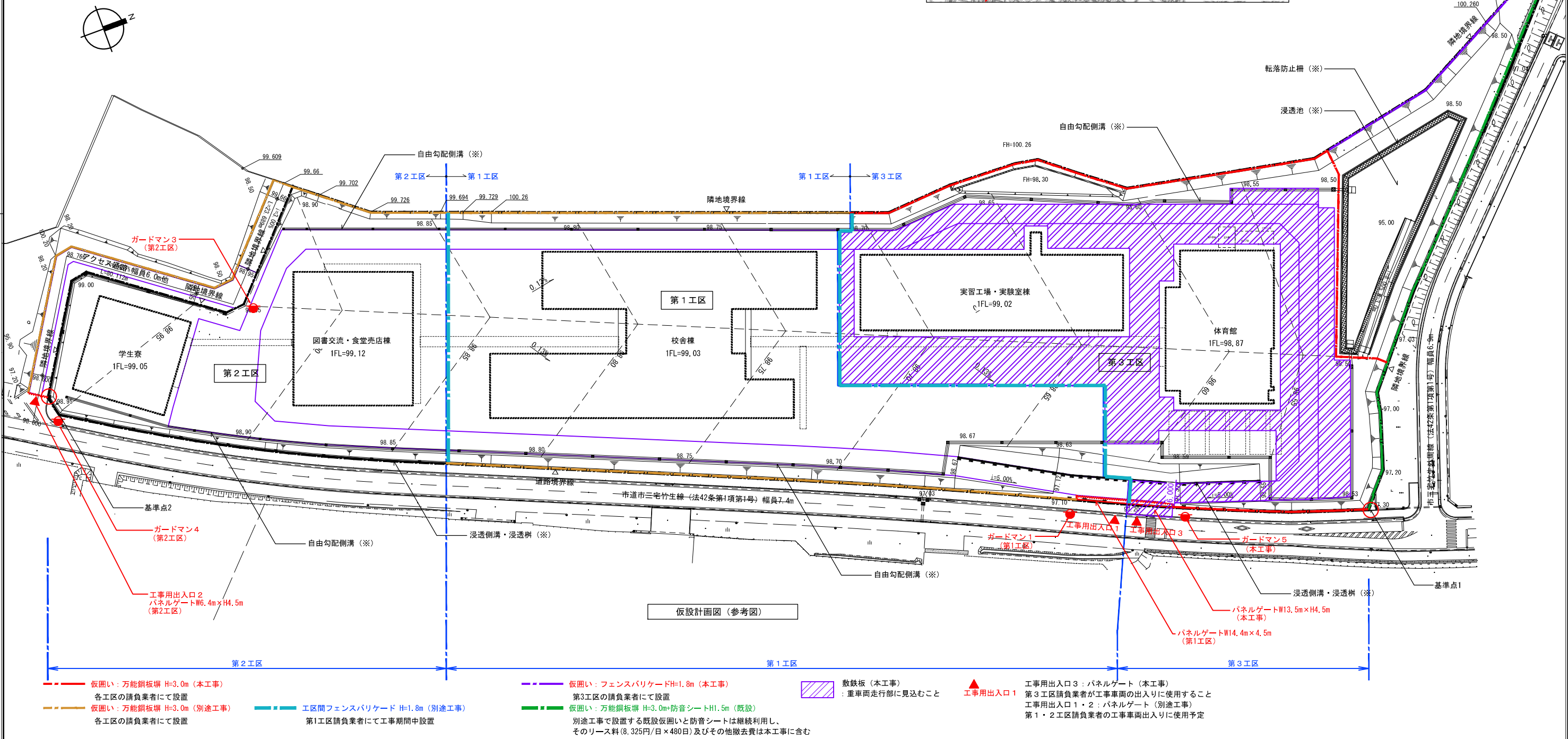
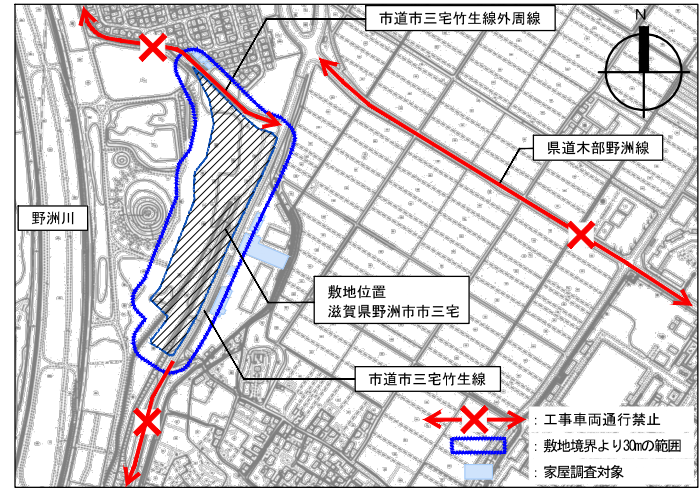
基礎断面図

基礎計算の前提条件 基礎の厚さは、風速40m/sの場合でも基礎・収納庫ごとの転倒を防げる計算上の数字です。
 (収納庫の部品はすべて取付し、最大容器本数(20本)の半数が空、残り半数が満タンにガスが入っている計算です)

<参考工程表>

年月	2026年												2027年												2028年			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					
第3工区 (本工事) 実習工場・実験室棟 体育館			準備	土	地盤改良	基礎躯体	鉄骨	躯体・外装	内装・設備工事														引渡し					
第1工区 (別途工事)			準備	土	地盤改良	基礎躯体	鉄骨	躯体・外装	内装・設備工事																			
第2工区 (別途工事)																												
諸官庁検査 (第1~3工区同時)																							完了検査等					
開校準備																							開校準備					

<工事車両通行禁止経路図>



仮設計画図 (参考図)

(凡例)	(特記事項)	公立大学法人 滋賀県立大学 高専開設準備局 総務・施設整備課		株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20240631-3	一級建築士 NO.248486 構造設計一級建築士 NO.4009	一級建築士 NO.334956 設備設計一級建築士 NO.4756	工務 征志	工事名称 滋賀県立高等専門学校 新築工事(第3工区)	図面番号 A111
<p>— 敷地境界線</p> <p>— 工区区分線</p>	<p>※: 令和8年3月造成工事により、法面、敷地外周部の自由勾配側溝・浸透側溝・浸透池および浸透池周囲のフェンスについては整備済み</p>	<p>設計者 石井 康彦</p> <p>構造設計 木下 隆嗣</p> <p>設備設計 工務 征志</p>		<p>図面名称 仮設計画図 (参考図)</p> <p>縮尺 A1: 1/625 A3: 1/1250</p>						